

平成30年度

推薦入試学生募集要項



愛媛大学

EHIME UNIVERSITY

推薦入試の試験日程等一覧

区分	学部	学科・課程等		募集人員	出願情報の登録期間	検定料の支払期間 及び郵送が必要な書類の提出期間	試験期日	合格者発表	入学手続期間	出願要件、推薦要件等及び選抜方法等											
推薦入試 I	法文学部	人文社会科学	「昼間主コース」		15人	10月18日 ～ 11月7日	11月1日 ～ 11月7日	11月26日	12月8日	12月18日 ～ 12月20日	12ページ参照										
			「夜間主コース」		10						14ページ参照										
	教育学部	学校教育課程 学校教員養成課程	初等教育コース	小学校サブコース	10						14ページ参照										
			生物学科		7						15ページ参照										
	理学部	地球科学科		11	10月18日 ～ 11月7日						11月1日 ～ 11月7日	11月26日	12月8日	12月18日 ～ 12月20日	16ページ参照						
		機械工学科		2											16ページ参照						
	工学部	電気電子工学科		5											10月18日 ～ 11月7日	11月1日 ～ 11月7日	11月26日	12月8日	12月18日 ～ 12月20日	18ページ参照	
		環境建設工学	土木工学コース																	8	18ページ参照
			社会デザインコース																	3	16ページ参照
		機能材料工学科		3																16ページ参照	
		応用化学科		5																18ページ参照	
		情報工学科		2																20ページ参照	
	農学部	食料生産学科	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕												8	11月25日	22ページ参照				
			推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕												10	11月26日	24ページ参照				
		生命機能学科	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕												3	11月25日	22ページ参照				
			推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕												3	11月26日	24ページ参照				
		生物環境学科	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕												9	11月25日	22ページ参照				
			推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕												7	11月26日	24ページ参照				
推薦入試 II	医学部	医学科	推薦A〔学校推薦〕			25	10月18日 ～ 11月7日	11月1日 ～ 11月7日	11月25日 ～ 11月26日	2月2日					2月7日 ～ 2月9日	30ページ参照					
			推薦B〔地域特別枠推薦〕			20 ※10										32ページ参照					
		看護学科		24		36ページ参照															
	工学部	機械工学科		11		11月27日 ～ 12月15日	12月11日 ～ 12月15日	1月27日	2月2日							2月7日 ～ 2月9日	38ページ参照				
		電気電子工学科		8	40ページ参照																
		環境建設工学	土木工学コース		5						42ページ参照										
			社会デザインコース		3						44ページ参照										
		機能材料工学科		7	46ページ参照																
		情報工学科		7	48ページ参照																

※ 推薦入試IIの医学部医学科推薦B（地域特別枠推薦）については、現時点で確定している募集人員は10人であるが、これを20人となるように現在調整中である。確定次第、本学ホームページに掲載する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部

法文学部は、人文社会諸科学の知識を基盤とした幅広い教養と、実践的な知識を身につけた、汎用能力の高いグローバル人材の育成を目指します。グローバル化した現代社会においては、グローカル・マインド(glocal mind)（世界と自分が生きている地域とを有機的主体と捉え、地域の問題と世界全体の問題とを連関させてその解決策を考えようとする心の在り方）を持って、生涯にわたり学び続け、その成果を実践に活かせる人間を育成しなければなりません。このような理念・目的を達成するために、法文学部では、次のような資質や能力、意欲を持った学生を求めています。

（知識・理解）

1. 高等学校で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

（思考・判断）

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

3. 人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

（技能・表現）

4. 所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

教育学部

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。そのために、学生は関係分野に関する専門的学識を修得し、子どもと多様にかかわり、そしてそれらを考察しつつ、資質能力の向上を図ります。

教育学部は、学校教育教員養成課程（初等教育コースと中等教育コース）と特別支援教育教員養成課程とからなり、教育学部の理念・目的を達成するために、次のような資質能力を有する学生を求めます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

（知識・理解）

- ①高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（知識・理解、技能）

- ②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、スポーツ、音楽、造形などの実技能力を有している。

（思考・判断・表現）

2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

（興味・関心・意欲）

3. 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に貢献する意欲を明確に有している。

（態度）

4. 積極的に他者とかわり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。

理学部

科学は、数理、自然および生命を支配する原理や法則を探求する学問であり、身の回りの何故に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、科学の5基幹分野(数学、物理学、化学、生物学、地球科学)に対応して5学科を設置し、先端研究・学術推進機構の沿岸環境科学研究センター、地球深部ダイナミクス研究センター、プロテオサイエンスセンター、宇宙進化研究センター、学術支援センター、総合情報メディアセンターと協働して、科学を体系的に学び幅広い応用力を身につけて社会に役立てたいと考える学生を受け入れ、教育し社会に送り出しています。

この目的のために、理学部では次のような資質を有する学生を求めます。

1. (学力の基盤) 高等学校レベルの数学および自然科学を修めており、学士課程の理学を自律的に学ぶための用意が十分にできている。
2. (論理的思考力) 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
3. (科学に生きる意志) 社会、文化、地球環境保全のために科学・科学技術を役立てたいと志している。

医学部

医学部の基本理念は「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」です。これは、「医療人は生涯にわたって病める人の身になって病苦と取り組み、人々の健康と福祉に貢献する」という精神を含んでいます。この理念に基づき、医学部は医学・看護学の知識や技術を教育するだけでなく、人間の尊厳を重んじる豊かな人間性と幅広い教養を育み、深い洞察力と生命倫理や生命の尊厳に対する深い認識を備えた医療人の育成をめざしています。また、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける態度を身につけるため、少人数による課題探求型の教育にも力を入れています。地域医療を含む日本の保健・医療・福祉に広く貢献できる人材の育成を目指し、一般入試に加えて、学校推薦や自己推薦などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、医学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・理解、思考・判断)

1. 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

(興味・関心・意欲、態度)

2. 人間が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
3. 医学・医療に対する意欲や関心度が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。
4. 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。

(技能・表現)

5. 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、周囲の人と良好な関係を保つことができる。
6. 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

工学部

工学部は、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指しています。そのため、本学部では次のような人を求めています。

(知識・理解)

1. 工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。

(思考・判断, 技能・表現)

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。

(興味・関心・意欲, 態度)

3. 工学の分野に興味を持ち、主体的・継続的な学びの姿勢で未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。

農学部

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を求めます。そのため、一般入試に加えて、学校推薦や自己推薦などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、農学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・理解)

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

2. 次のいずれかに該当する。

A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。

B. 農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲, 態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

◇ 各学科・課程等のアドミッション・ポリシーは、本学ホームページでご確認ください。

https://www.ehime-u.ac.jp/faculty/educational_policy/policy_3_dept/

1 推薦入試の概要

(1) 推薦入試Ⅰ…大学入試センター試験を課さない推薦入試

入学者選抜において、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、書類審査、面接、小論文及び総合問題により合格者を決定します。

(注) 学部等により選抜方法が異なりますので、12ページから27ページを参照してください。

(2) 推薦入試Ⅱ…大学入試センター試験を課す推薦入試

入学者選抜において、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、書類審査、面接、小論文及び大学入試センター試験の成績により合格者を決定します。

(注) 学部等により選抜方法が異なりますので、28ページから51ページを参照してください。

2 募集人員

※推薦できる人数については、分校と本校とは別に1校として取り扱います。また、複数の課程(全日制、定時制、通信制)を置く学校については、各課程ごとに別枠で推薦できるものとします。

※「高等学校」には、中等教育学校を含みます。(以下同じ。)

区分	学 部	学 科 ・ 課 程 等	募集人員	備 考	
推 薦 入 試 Ⅰ	法文学部	人文社会科学 「昼間主コース」	15人	1学校につき3人以内とする。	
		「夜間主コース」	10	1学校につき3人以内とする。*	
	教育学部	学校教育課程 初等教育コース	10	10	1学校につき2人以内とする。
		小中学校サブコース			
	理学部	生 物 学 科	7	1学校につき2人以内とする。	
		地 球 科 学 科	11	1学校につき3人以内とする。	
	工 学 部	機 械 工 学 科	2	工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象 1高等学校につき2人以内とする。	
		電 気 電 子 工 学 科	5	工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象	
		環境建設工学科	土 木 工 学 コ ー ス	8	普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科対象 1高等学校につき2人以内とする。
			社会デザインコース	3	〃
		機 能 材 料 工 学 科	3	工業に関する学科又は総合学科対象	
		応 用 化 学 科	5	普通科、理数に関する学科又は総合学科対象	
		情 報 工 学 科	2	普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象	
	農 学 部	食 料 生 産 学 科	8	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕	
			10	推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕	
		生 命 機 能 学 科	3	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕	
3			推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕		
生 物 環 境 学 科		9	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕		
	7	推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕			
医 学 部	医 学 科	25	推薦A〔学校推薦〕 1学校につき5人以内とする。		
		10 20	推薦B〔地域特別枠推薦〕		
工 学 部	機 械 工 学 科	11	普通科、理数に関する学科又は総合学科対象		
		8			
	環境建設工学科	土 木 工 学 コ ー ス	5	普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科対象	
		社会デザインコース	3	〃	
	機 能 材 料 工 学 科	7	普通科、理数に関する学科又は総合学科対象		
	情 報 工 学 科	7	普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象		

* 詳細は12ページを参照してください。

※ 推薦入試Ⅱの医学部医学科推薦B(地域特別枠推薦)については、現時点で確定している募集人員は10人であるが、これを20人とするように現在調整中である。確定次第、本学ホームページに掲載する。

推薦入試 I

学 部	学科・課程等		出 願 要 件	
法文学部	人 文 社 会 学 科	「昼間主コース」	次の(1)から(2)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者 ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者 ② 合格した場合は入学を確約できる者	
		「夜間主コース」	次の(1)から(2)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内(既卒者を除く。)とする。 (1) 高等学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成30年3月修了見込みの者 ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者 ② 合格した場合は入学を確約できる者	
教育学部	学員 学校養成 教育課程	初等教育 コース 小学校 サブコース	高等学校を平成30年3月卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき、2人以内とする。	
理学部	生物学科 地球科学科		次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき生物学科2人以内、地球科学科3人以内とする。 (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者	
工学部	機械工学科 (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)		高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの ただし、推薦できる者は、1高等学校につき2人以内とする。 1 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの 2 合格した場合は入学を確約できる者	
	電気電子工学科 (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)		高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの 2 合格した場合は入学を確約できる者	
	環境建設工学科	土木工学コース (普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科対象)		高等学校の普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの ただし、推薦できる者は、1高等学校につき2人以内とする。 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上で、人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		社会デザインコース (普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科対象)		高等学校の普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの ただし、推薦できる者は、1高等学校につき2人以内とする。 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上で、人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	機能材料工学科 (工業に関する学科又は総合学科対象)		高等学校の工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの 2 合格した場合は入学を確約できる者	
	応用化学科 (普通科、理数に関する学科又は総合学科対象)		高等学校の普通科、理数に関する学科又は総合学科(ただし、いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「化学若しくは理数化学」を修得又は修得見込みの者)を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 調査書の全体の評定平均値が4.0以上で、人物が優秀な者 2 合格した場合は入学を確約できる者	
	情報工学科 (普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)		高等学校の普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 調査書の全体の評定平均値が3.8以上で、人物が優秀な者 2 合格した場合は入学を確約できる者	
農学部	食 生 生 料 命 物 生 機 環 産 能 境 学 学 学 科 科 科 科	(普通科又は理数に関する学科対象) 〔推薦A〕	次の(1)または(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者 ① 普通科又は理数に関する学科を卒業又は修了見込みの者 ② 学力、人物が優秀な者 ③ 合格した場合は入学を確約できる者 ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、志望動機が明確である者	
		(専門教育を主とする学科又は総合学科対象) 〔推薦B〕	次の(1)または(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者 ① 専門教育を主とする学科(理数に関する学科を除く。)、総合学科を卒業又は修了見込みの者 ② 学力、人物が優秀な者 ③ 合格した場合は入学を確約できる者 ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、志望動機が明確である者	

推薦入試Ⅱ

学部	学科等	出願要件	
医学部	医学科 (学校推薦) [推薦A]	以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、医学の研究者あるいは臨床医としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの。ただし、推薦できる者は、1学校につき5人以内とする。 (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者	
	医学科 (地域特別枠推薦) [推薦B]	・愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること ・幅広い総合的な診療能力を身につけることを通して、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること ・合格した場合は入学を確約できること ・入学後に愛媛県の奨学金を受給し、卒業後に愛媛県知事が指定する医療機関において9年間以上勤務する義務に同意すること 以上の全てについて学校長が責任をもって推薦できる者で、以下のいずれかに該当するもの (1) 愛媛県内の高等学校を平成29年3月以降に卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者 (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月以降に修了した者又は平成30年3月修了見込みの者	
	看護学科	以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、看護学・保健学の研究者、教育者あるいは臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの。 (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者	
工学部	機械工学科 (普通科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、理数に関する学科又は総合学科(ただし、いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者)を平成29年3月以降に卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 学習成績及び人物が優秀な者 2 合格した場合は入学を確約できる者	
	電気電子工学科	高等学校(ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」、「物理若しくは理数物理」、「化学若しくは理数化学」の全てを修得又は修得見込みの者)を平成30年3月に卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 学習成績及び人物が優秀な者 2 合格した場合は入学を確約できる者	
	環境建設工学科	土木工学コース (普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		社会デザインコース (普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、理数に関する学科、工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	機能材料工学科 (普通科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、理数に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 調査書の全体の評定平均値が4.0以上で、人物が優秀な者 2 合格した場合は入学を確約できる者	
	情報工学科 (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科(ただし、いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者)を平成30年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの 1 学習成績及び人物が優秀な者 2 合格した場合は入学を確約できる者	

注意： 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含める。）への出願は、1つの大学・学部に限られています。

ただし、1つの大学・学部の推薦入試募集単位（学科・課程）について、大学入試センター試験を課さない推薦入試で不合格となった場合は、同一の学科・課程の大学入試センター試験を課す推薦入試に出願することができます。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

平成30年3月卒業見込みの者には、平成29年4月以降に卒業を認められたものを含みます。

4 出願方法及び出願手続

(1) 出願方法（インターネット出願）

平成30年度入試より、出願方法がインターネット出願のみとなっています。

以下の方法により、インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の必要書類を郵送してください。

- ① インターネット出願サイトへのユーザー登録
- ② 出願情報の入力
- ③ 検定料の支払
- ④ 必要書類の郵送

(2) 出願受付期間

推薦入試 I

法文学部	人文社会学科「昼間主コース」・「夜間主コース」
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
理学部	生物学科，地球科学科
工学部	機械工学科，電気電子工学科， 環境建設工学科 土木工学コース・社会デザインコース， 機能材料工学科，応用化学科，情報工学科
農学部	食料生産学科，生命機能学科，生物環境学科

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火)〔11月7日(火)の消印有効〕 〔注〕 郵送事情を考慮し、郵送が必要な出願書類の提出期間内に間に合うように手続きをしてください。
【注意】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。 インターネットで入力が完了していても、調査書等の必要書類が期間内に郵送されていない場合は出願を受理しないので、注意してください。	

郵送が必要な出願書類は、期間内に配達されたもの及び11月8日(水)以降に配達されたもののうち、11月7日(火)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

直接持参しても受理しないので注意してください。

推薦入試Ⅱ

〔医学部 医学科, 看護学科〕

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火)〔11月7日(火)の消印有効〕 〔注〕郵送事情を考慮し、郵送が必要な出願書類の提出期間内に間に合うように手続きをしてください。
<p>【注意】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。</p> <p>インターネットで入力完了していても、調査書等の必要書類が期間内に郵送されていない場合は出願を受理しないので、注意してください。</p>	

郵送が必要な出願書類は、期間内に配達されたもの及び11月8日(休)以降に配達されたもののうち、11月7日(火)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。
直接持参しても受理しないので注意してください。

〔工学部 機械工学科, 電気電子工学科,
環境建設工学科 土木工学コース・社会デザインコース,
機能材料工学科, 情報工学科〕

出願情報の登録期間	平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時
検定料の支払期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金)〔12月15日(金)の消印有効〕 〔注〕郵送事情を考慮し、郵送が必要な出願書類の提出期間内に間に合うように手続きをしてください。
<p>【注意】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。</p> <p>インターネットで入力完了していても、調査書等の必要書類が期間内に郵送されていない場合は出願を受理しないので、注意してください。</p>	

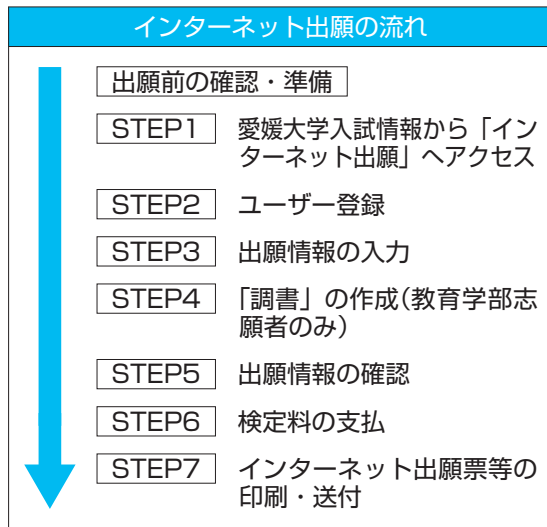
郵送が必要な出願書類は、期間内に配達されたもの及び12月16日(出)以降に配達されたもののうち、12月15日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。
直接持参しても受理しないので注意してください。

(3) 郵送が必要な出願書類の送付先 (推薦入試Ⅰ, Ⅱ共通)

学部	送付先	所在地	電話
法文学部	法文学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9221
教育学部	教育学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
理学部	理学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9546
医学部	医学部入試係	〒791-0295 東温市志津川	089-960-5175
工学部	工学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農学部	農学部入試係	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号	089-946-9648

(4) 出願手順, 支払方法, 出願書類

1) 出願手順



出願前の確認・準備

①パソコンの確認

パソコンからインターネットを通じて出願情報の登録を行います。

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコンを用意してください。

また、自宅にパソコンがない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコンを利用できるように確認してください。

【推奨環境】

▼ブラウザのバージョン

【Windows】Internet Explorer 11以上,
Google Chrome最新バージョン,
Mozilla Firefox最新バージョン

【Mac】Safari最新バージョン,
Google Chrome最新バージョン,
Mozilla Firefox最新バージョン

▼ブラウザの設定

JavaScriptを有効にする。

Cookieを有効にする。

▼その他必要なソフトウェア条件

インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上を推奨します。

(注意) スマートフォン、タブレット端末、携帯電話は推奨環境ではありません。PDFファイルの印刷を行うために相応の知識が必要となります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

登録するメールアドレスは、ログイン時のIDとして利用するだけでなく、出願に関する重要なお知らせが配信されるため、「@applyjapan.com」からのメールを受け取れるように設定してください。

フリーメールアドレスでも差し支えありません。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy (Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング) を利用できます。

8ページの「2)支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ (JPEG形式、10MBまで) をアップロードします。上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4:横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の必要書類も準備をしておいてください。必要書類の詳細については、9ページの「3) ①郵送が必要な出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用 [角形2号封筒 (24cm×33.2cm)] 及び返信用 [長形3号封筒 (12cm×23.5cm)] の市販の封筒が必要です。返信用封筒に貼る切手の額は9ページの「3) ①郵送が必要な出願書類」で確認してください。

STEP1

愛媛大学入試情報から「インターネット出願」へアクセス

愛媛大学入試情報>インターネット出願

https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/net_app/



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。



四国国立5大学インターネット出願(ログイン画面)



STEP2 ユーザー登録

「新規登録」からユーザーID（メールアドレス）を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@applyjapan.com」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザーID・パスワードでログインし、画面に沿って出願先、科目選択、個人情報（写真データを含む）等を入力してください。

ログイン後トップ画面：出願先を選択

個人情報入力画面

写真アップロード画面

STEP4 「調書」の作成（教育学部の志願者のみ）

志望の動機について、志願者本人が作成してください。

1000文字まで入力できます。
印刷して郵送する必要はありません。

STEP5 出願情報の確認

出願情報の最終確認です。確認画面で登録内容に間違いがないか確認してください。これ以降は修正できません。

STEP6 検定料の支払

（平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時）
推薦入試Ⅱ 工学部については
（平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時）

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。（詳細は8ページ「2」支払方法」を参照。）

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される受付番号等の支払いに必要な情報をメモしてください。

（例）コンビニエンスストアを選択した場合の画面

支払手続が完了しないと、「STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料の支払手続が完了すると、出願サイトから、インターネット出願票・宛名票等が印刷できるようになります。

インターネット出願票・宛名票等の確認

A4サイズで印刷します。カラー・白黒は問いません。

出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、9ページ「3」①郵送が必要な出願書類」を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、「インターネット出願票」とその他の出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票（A4）を貼りつけてください。



「宛名票」の印刷ができない場合は、次頁のように封筒に直接記入してください。

【宛名票が印刷できない場合の記入見本】

切手	〒 △△△-△△△△	5ページの(3) 郵送が必要な出願書類の送付先の所在地・送付先を記入。
速達・簡易書留	●●市●●●● 愛媛大学 ▽▽学部入試係 行	
出願書類在中	入試区分：推薦入試 志願学部：▽▽▽学部 志望学科・課程等：○○学科	出願する学部・学科・課程等を記入。
	志願者 〒****-**** 住所 ○○県○○市○○*-* 氏名 □□ □□	

郵送

「速達・簡易書留郵便」で送付してください。
 なお、学校等で数人分まとめて郵送する場合は、「宛名票」を貼った封筒に1人分ずつ入れて、表に「推薦入試願書」と朱書した別封筒に封入してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。
 インターネットで入力が完了していても、調査書等の出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

2) 支払方法

検定料：17,000円

(法文学部「夜間主コース」は10,000円)

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング)の3種類の支払方法があります(支払方法/取扱い金融機関は、下にあるものに限りです)。

それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。

なお、支払済の検定料は10ページの「(6) 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

クレジットカード

【支払期限】

平成29年11月7日(火)16時(推薦入試Ⅱ工学部の場合は平成29年12月15日(金)16時)まで

- Visa
- MasterCard



これ以外のカードは利用できません。

志願者本人の名義でなくても可

支払方法は一括払のみ

コンビニエンスストア

【支払期限】

平成29年11月7日(火)16時(推薦入試Ⅱ工学部の場合は平成29年12月15日(金)16時)までに、「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。

- ローソン
- ミニストップ



「Loppi」で手続後、レジで現金支払

- ファミリーマート



「Famiポート」で手続後、レジで現金支払

- サークルKサンクス



「Kステーション」で手続後、レジで現金支払

- デイリーヤマザキ
- ヤマザキデイリーストア



レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、現金支払

- セイコーマート



「クラブステーション」で手続後、レジで現金支払

Pay-easy (ペイジー)

【支払期限】

平成29年11月7日(火)16時(推薦入試Ⅱ工学部の場合は平成29年12月15日(金)16時)までに、「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。

- 金融機関ATM

対象金融機関*(ゆうちょ銀行等)のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。



コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。

ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。

- インターネットバンキング

インターネットバンキングは事前に対象金融機関*への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。志願者本人の名義でなくても可

* 対象金融機関

<https://www.veritrans.co.jp/payment/bank/list.html>

インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せ
 四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター
 受付期間：平成29年11月1日(水)～11月7日(火)
 (推薦入試Ⅱ工学部については平成29年12月11日(月)～12月15日(金))

受付時間：午前10時から午後6時まで

電話番号：082-545-4855

3) 出願書類

① 郵送が必要な出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

書類等	摘 要	送付を要する者
インターネット出願票	出願サイトからダウンロードし、A4サイズで印刷したもの なお、推薦入試Ⅱの工学部に出願する者は所定の箇所に「平成30センター試験成績請求票[推薦]国公立推薦入試用」を必ず貼ってください。 ただし、医学部にあつては出願時に「平成30センター試験成績請求票[推薦]国公立推薦入試用」を貼る必要はありません。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 印刷できない場合は、A4サイズの白紙に志願者の氏名及び志願学科を記入したもの（推薦入試Ⅱの工学部に出願する者は「平成30センター試験成績請求票[推薦]国公立推薦入試用」を貼付）をインターネット出願票の替わりとしてください。	全 員 ただし、センター試験成績請求票は、推薦入試Ⅱの工学部に出願する者のみ
推薦書	愛媛大学ホームページからダウンロードした本学所定の様式（A4片面1枚）に、出身学校長が手書き又はワープロ入力（10.5pt）で記入し、厳封したもの（注1）	全 員
プログラム作品に関する証明書・説明文書等	愛媛大学ホームページからダウンロードした本学所定の様式に、必要事項を記入したもの（注1）（注2）	工学部情報工学科（推薦入試Ⅰ）志願者のみ
自己推薦書	愛媛大学ホームページからダウンロードした本学所定の様式に、必要事項を手書きで記入したもの（注1）	医学部医学科（地域特別枠推薦）[推薦B] 志願者のみ
意思確認書	愛媛大学ホームページからダウンロードした本学所定の様式に、必要事項を手書きで記入したもの（注1）	医学部医学科（地域特別枠推薦）[推薦B] 志願者のみ
調査書	所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの	全 員
返信用封筒（受験票送付用）	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードし、A4サイズで印刷後切り抜いた宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 印刷できない場合は、封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を直接記入してください。 必ず372円分の郵便切手を貼ってください。	全 員
返信用封筒（第1段階選抜結果通知送付用）	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードし、A4サイズで印刷後切り抜いた宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 印刷できない場合は、封筒に志願者の郵便局番号・住所・氏名を直接記入してください。 必ず682円分の切手を貼ってください。	医学部医学科・看護学科（推薦入試Ⅱ）志願者のみ

注1 様式は愛媛大学ホームページ>入試情報>学生募集要項ダウンロード（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>）からダウンロードできます。

注2 説明文書等については、20ページの「(5) 選抜方法等」を参照してください。

注3 出願後、住所（志願者連絡先）が変わった場合は、速やかに志願学部の入試係に連絡してください。

* インターネット出願票等提出後の、志望学科・課程・コース等の変更は認められませんので、インターネット出願情報入力の際は、該当事項をよく読んで誤りのないよう正確に入力してください。

② 郵送の必要がない（出願サイトから入力することにより提出となる）出願書類

書類等	摘 要	作成を要する者
調 査 書	志望の動機について、志願者本人が作成してください。1,000文字まで入力できます。 入力による提出となりますので、印刷して郵送する必要はありません。	教育学部志願者のみ

(5) 受験票等の発送

【推薦入試Ⅰ及び推薦入試Ⅱの医学部】

受験票等は、平成29年11月10日(金)頃発送します。

なお、受験票等が平成29年11月15日(水)までに未着の場合は、出願した学部の入試係へ連絡してください。

【推薦入試Ⅱの工学部】

受験票等は、平成29年12月25日(月)頃発送します。

なお、受験票等が平成30年1月5日(金)までに未着の場合は、工学部の入試係へ連絡してください。

(6) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577 愛媛県松山市道後樋又10番13号 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム 電話 089-927-9074, 9077 Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp
--

(7) 注意事項

- ① 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。また、出願書類は返還しません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ③ 平成30年度愛媛大学受験票及び平成30年度大学入試センター受験票は、個別学力検査受験及び入学手続並びに入学試験個人成績等開示の際に必要なので、紛失したり、汚損したりすることのないよう大切に保管しておいてください。

推薦入試 I（大学入試センター試験を課さない。）は、次のページから始まります。

法 文 学 部

人文社会学科「昼間主コース」
// 「夜間主コース」

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 人文社会学科「昼間主コース」

次の(1)から(2)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者
ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。

(1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者

① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者

② 合格した場合は入学を確約できる者

2) 人文社会学科「夜間主コース」

次の(1)から(2)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者
ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内（既卒者を除く。）とする。

(1) 高等学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成30年3月修了見込みの者

① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者

② 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成29年11月26日(日)

詳細については、26ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

法文学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

小論文、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	小論文	面接	推薦書 調査書	計
人文社会学科	「昼間主コース」		400	200	200	800
	「夜間主コース」		400	200	200	800

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は 出題意図の開示時期
人文社会学科 「昼間主コース」 「夜間主コース」	小論文	以下の諸点を評価の目安とする。 1. 題意を十分把握していること。 2. 具体的な考察がなされていること。 3. 論理的な考察がなされ、論理の逸脱、飛躍がないこと。 4. 構想力が優れていること。 5. 表現力が優れていること。 6. 発想がユニークであること。 7. 誤字・脱字のないこと。	平成29年12月8日(金) 午前10時
	面接	勉強意欲、目的意識を中心に、基礎的知識、理解力、表現力、態度などを総合的に評価する。	
	推薦書 調査書	学業成績、人物、特別活動、入学動機、卒業後の進路などについて、評定平均値や「指導上参考となる諸事項」の記載内容を含めて、総合的に評価する。	

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校を平成30年3月卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの

ただし、推薦できる者は、1学校につき、2人以内とする。

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成29年11月26日(日)

詳細については、26ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

教育学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

小論文、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書、調査書及び調書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

教科等	小論文	面接	推薦書 調査書	計
配点	100	100	100	300

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
小論文	学校教育に関する事項について問い、題意の理解力、設問に関する基礎知識、記述の論理性、文章力を評価する。また、初等教育への関心及び小学校教員への意欲についても問い、総合的に評価する。	平成29年12月8日(金) 午前10時
面接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、自己表現力などについて総合的に評価する。	
推薦書 調査書 調書	学業成績、人物、特別活動、進路・動機などについて、評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて、総合的に評価する。	

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの

ただし、推薦できる者は、1学校につき生物学科2人以内、地球科学科3人以内とする。

- (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 〔11月7日(火)の消印有効〕

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成29年11月26日(日)

詳細については、26ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

理学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

学 科	教科等	面 接	推 薦 書 調 査 書	計
生 物 学 科		200	100	300
地 球 科 学 科		200	100	300

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
生 物 学 科 地 球 科 学 科	面 接	目的意識，勉学意欲，基礎的知識，理解力，表現力などについて総合的に評価する。
	推 薦 書 調 査 書	学業成績，人物，特別活動，進路・動機などについて総合的に評価する。

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 機械工学科

高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を平成30年3月卒業見込みの者で、下記の条件 a 及び b に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの
ただし、推薦できる者は、1 高等学校につき2 人以内とする。

2) 電気電子工学科

高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を平成30年3月卒業見込みの者で、下記の条件 a 及び b に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

3) 機能材料工学科

高等学校の工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、下記の条件 a 及び b に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- a 学習成績概評 A に属する者のうち、人物が優秀なもの
- b 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4 ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験 期 日

平成29年11月26日(日)

詳細については、26 ページの「試験 期 日 及 び 試 験 時 間」を参照してください。

(4) 試 験 場

工学部で実施します。

試験場の位置については、62 ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選 抜 方 法 等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、機械工学科の面接は、数学、物理に関する口頭試問を含みます。電気電子工学科の面接は、数学、物理、英語に関する口頭試問を含みます。機能材料工学科の面接は、数学、理科に関する口頭試問を含みます。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等	教科等	面接	推薦書調査書	計
機 械 工 学 科		400	200	600
電 気 電 子 工 学 科		400	200	600
機 能 材 料 工 学 科		400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 機 能 材 料 工 学 科	面 接	基礎的知識・学力，目的意識，勉学意欲，自己表現力などについて総合的に評価する。
	推 薦 書 調 査 書	学業成績，人物，特別活動，進路・動機などについて総合的に評価する。 なお，「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととする。

- 注1 機械工学科 * 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には，例えばコンテストの受賞歴，留学期間中の実績，高大連携活動等の成果があれば記入してください。なお，「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について，推薦書に具体的に記載される場合は，調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。
- 注2 電気電子工学科 * 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には，学校外における学習・研修活動の成果があれば記入してください。なお，調査書の「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について，推薦書に具体的に記入される場合は，調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。
- 注3 機能材料工学科 * 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には，(1)～(4)に記載されていない事項について，例えばコンテストの受賞歴，留学期間中の実績，高大連携活動等の成果があれば記入してください。

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 環境建設工学科 土木工学コース

高等学校の普通科，理数に関する学科，工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で，下記の条件 a 及び b に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの
 ただし，推薦できる者は，1 高等学校につき2人以内とする。

2) 環境建設工学科 社会デザインコース

高等学校の普通科，理数に関する学科，工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で，下記の条件 a 及び b に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの
 ただし，推薦できる者は，1 高等学校につき2人以内とする。

3) 応用化学科

高等学校の普通科，理数に関する学科又は総合学科(ただし，いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「化学若しくは理数化学」を修得又は修得見込みの者)を平成30年3月卒業見込みの者で，下記の条件 a 及び b に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- a 調査書の全体の評定平均値が4.0以上で，人物が優秀な者
- b 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続きを行ってください。

(3) 試験期日

平成29年11月26日(日)

詳細については，26ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

面接(口頭試問を含む。)の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

なお，環境建設工学科 土木工学コース・社会デザインコースの面接は，国語，数学，英語に関する口頭試問を含みます。応用化学科の面接は，本学科に関する口頭試問を含みます。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等	教科等	面接	推薦書 調査書	計
環境建設工学科 土木工学コース 社会デザインコース		400	200	600
応用化学科		400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
環境建設工学科 土木工学コース 社会デザインコース 応用化学科	面接	基礎的知識・学力，目的意識，勉学意欲，自己表現力などについて総合的に評価する。
	推薦書 調査書	学業成績，人物，特別活動，進路・動機などについて総合的に評価する。 なお，「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。 これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととする。

- 注1 環境建設工学科
土木工学コース
社会デザインコース
- 注2 応用化学科
- * 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には，例えば高大連携活動等による成果を記入してもよい。なお，「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について，推薦書に具体的に記載される場合は，調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。
- * 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には，出身（在籍）高等学校又はその学科の特性を生かした学習の成果があれば記入してください。なお，「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について，推薦書に具体的に記載される場合は，調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，工業に関する学科，情報に関する学科，理数に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上で，人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続きを行ってください。

(3) 試験期日

平成29年11月26日(日)

詳細については，26ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

プログラミングに関する試験，面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

プログラミングに関する試験方法等

1. 出願時に，以下のものを提出してください。

- 1) プログラム作品の内容と使用方法，プログラムの実行環境（OSと開発環境）と実行の手順，プログラムの処理内容と工夫した点を説明する文書（A4用紙片面4枚以内）
- 2) 作品のプログラムのソースコード（コメント文を含めて1,000行以内）を印刷したもの。
- 3) 以下のものを入れたCD-RまたはDVD-R（一枚）。ただしレーベル面に氏名を記入すること。
 - (a) 作品のプログラムのソースコード（コメント文を含めて1,000行以内）が記述されたソースファイル
 - (b) プログラム作品の実行に必要なデータ（*）
 - (c) 作品のプログラムのコンパイル及び実行に際して必要な下記の計算機環境にないライブラリ（無償でかつ再配布可能なものに限る。）（*）

4) プログラム作品に関する証明書

2. 試験当日に，受験者は，出願時に提出したソースコードが記述されたソースファイルをCD-R，DVD-R又はUSBメモリに入れて持参してください。コンパイル及び実行に際して特別なライブラリ（無償でかつ再配布可能なものに限る。）（*）が必要ならば，それらも持参してください。

以下の計算機環境の下で，受験者がソースファイルのコンパイルから実行までした後で，作品の意図や内容・構成等及びプログラミングに関する口頭試問を行います。

計算機環境 (**):

<Windows 環境>ノート型パソコン CPU: Intel Core i5 1.8GHz, メモリ: 4 GB

OS: Windows 10 Home

追加開発環境: Oracle Java SE 8, Processing 3. x. x以降, Eclipse 4.6

<Linux 環境>ノート型パソコン CPU: Intel Core i5 1.8GHz, メモリ: 4 GB

OS: Ubuntu 14.04 Desktop (標準でインストールされるもののみ)

追加開発環境: Oracle Java SE 8, GNUコンパイラコレクション, Processing 3. x. x以降, Eclipse 4.6

* 著作権, ライセンス権等に十分注意すること。

** インターネットには接続できません。

(6) 個別学力検査等の配点

教科等	プログラミングに関する試験	面接	計
配点	200	200	400

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準 (一般的基準)
プログラミングに関する試験	志願者が作成したプログラム作品 (複数人による作成は認めない) 及びプログラミングに関する口頭試問によって, 論理的思考能力及びコミュニケーション能力について総合的に評価する。
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書	面接において参考資料として, 面接に含めて評価する。
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらのことについては, 必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし, 面接の評価点に含める。

注 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には, 例えばコンテストの受賞歴, 留学期間中の実績, 高大連携活動等の成果があれば記入してください。

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)または(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者
- ① 普通科又は理数に関する学科を卒業又は修了見込みの者
- ② 学力、人物が優秀な者
- ③ 合格した場合は入学を確約できる者
- ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確である者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成29年11月25日(土)

詳細については、26ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

農学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

総合問題、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

教科等	総合問題	面接	計
配点	100	100	200

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

食料生産学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力，国語力，基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	平成29年12月8日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識，食料生産に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲，自己表現力について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし，面接の評価点に含める。	

生命機能学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力，国語力，基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	平成29年12月8日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識，生命機能に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲，自己表現力について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし，面接の評価点に含める。	

生物環境学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力，国語力，基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	平成29年12月8日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識，生物環境に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲，自己表現力について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし，面接の評価点に含める。	

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)または(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者
- ① 専門教育を主とする学科（理数に関する学科を除く。）、総合学科を卒業又は修了見込みの者
- ② 学力、人物が優秀な者
- ③ 合格した場合は入学を確約できる者
- ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確である者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成29年11月26日(日)

詳細については、26ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

農学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

総合問題、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。なお、面接は、推薦書に記入された、各コースごとに実施します。

(6) 個別学力検査等の配点

教科等	総合問題	面接	計
配点	100	100	200

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

食料生産学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	平成29年12月8日(金)午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識、食料生産に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自己表現力について評価する。 なお、農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生命機能学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	平成29年12月8日(金)午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識、生命機能に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自己表現力について評価する。 なお、生命化学、食品科学などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生物環境学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	平成29年12月8日(金)午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識、生物環境に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自己表現力について評価する。 なお、森林、農業土木、環境などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

試験期日及び試験時間

学 部	学 科 ・ 課 程 等	試 験 期 日 等	
法文学部	人文社会科学「昼間主コース」 〃 「夜間主コース」	平成29年11月26日(日)午前9時から 小論文(100分), 面接(口頭試問を含む。)	
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	平成29年11月26日(日)午前9時から 小論文(120分), 面接(口頭試問を含む。)	
理学部	生 物 学 科 地 球 科 学 科	平成29年11月26日(日)午前9時から 面接(口頭試問を含む。)	
工学部	機 械 工 学 科	平成29年11月26日(日)午前9時から 面接(数学, 物理に関する口頭試問を含む。)	
	電 気 電 子 工 学 科	平成29年11月26日(日)午前9時から 面接(数学, 物理, 英語に関する口頭試問を含む。)	
	環境建設工学科	土木工学コース 社会デザインコース	平成29年11月26日(日)午前9時から 面接(国語, 数学, 英語に関する口頭試問を含む。)
	機 能 材 料 工 学 科	平成29年11月26日(日)午前9時から 面接(数学, 理科に関する口頭試問を含む。)	
	応 用 化 学 科	平成29年11月26日(日)午前9時から 面接(本学科に関する口頭試問を含む。)	
	情 報 工 学 科	平成29年11月26日(日)午前9時から プログラミングに関する試験, 面接	
農学部	食 料 生 産 学 科 生 命 機 能 学 科 生 物 環 境 学 科	推薦A 平成29年11月25日(土)午前9時から 総合問題(120分), 面接(口頭試問を含む。)	
		推薦B 平成29年11月26日(日)午前9時から 総合問題(120分), 面接(口頭試問を含む。)	

合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

事 項 学 部	合 否 判 定 基 準	
	総合点で合否を判定する。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
法 文 学 部	○	同点者は、同順位とする。
教 育 学 部	○	① 同点者は、小論文の得点により順位を付ける。 ② 小論文の得点と同点の場合は、書類（推薦書、調査書、調書）の得点により順位を付ける。
理 学 部	○	同点者は、同順位とする。
工 学 部	○	同点者は、同順位とする。
農 学 部	○	同点者は、同順位とする。

合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

平成29年12月 8 日(金) 午前10時

(2) 合格者発表の方法

- 1) 合格者については、当該学部掲示場に受験番号で発表します。
なお、出身学校長へ選考結果の通知書等を送付します。
- 2) 合格通知書、入学手続関係書類及び入学案内を合格者に送付します。
- 3) 愛媛大学ホームページに合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)
ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記1)又は2)の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

(注) 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

試験当日等に大学周辺で行われている合否電報等の受付については、本学と一切関係ありません。

入 学 手 続

合格者は、下記の期間内に郵送により入学手続を行ってください。詳細については、合格通知の際にお知らせします。

なお、入学手続は60ページの「10 入学手続及び初年度の諸経費」を参照してください。

入学手続期間

平成29年12月18日(月)～12月20日(水) 必着

なお、やむを得ず持参する場合は、各学部入試係（68ページを参照）に電話連絡の上、12月20日(水)午後5時まで持参してください。

【教科・科目の表記について】

1 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように表記しています。

○国語

『国語』→「国語」

○地理歴史

「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」, 「日本史B」→「日B」,

「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」

○公民

「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」, 『倫理, 政治・経済』→「倫・政経」

○数学

「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』→「数Ⅰ・数A」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」,

『数学Ⅱ・数学B』→「数Ⅱ・数B」

○理科

「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地学基」,

「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地学」

○外国語

『英語』→「英」, 『ドイツ語』→「独」, 『フランス語』→「仏」, 『中国語』→「中」, 『韓国語』→「韓」

(注) 『 』 で記載しているものは、2つの科目を統合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

数Ⅰ, 数Ⅰ・数A→数学①

数Ⅱ, 数Ⅱ・数B→数学②

物基, 化基, 生基, 地学基→理科①

物, 化, 生, 地学→理科②

3 大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

物基, 化基, 生基, 地学基から2科目を選択→A

物, 化, 生, 地学から1科目を選択→B

物基, 化基, 生基, 地学基から2科目及び物, 化, 生, 地学から1科目を選択→C

物, 化, 生, 地学から2科目を選択→D

医学部医学科推薦入試Ⅱは、次のページから始まります。

(1) 出願要件及び推薦要件等

以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、医学の研究者あるいは臨床医としての優れた資質を有し、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの。ただし、推薦できる者は、1学校につき5人以内とする。

- (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

平成29年11月25日(土)～11月26日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

小論文、面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書により、合否判定基準に基づき選考し、30人程度を合格させます。

小論文は和文・英文で出題し、和文での記述となります。

選抜の結果は、平成29年12月8日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、医学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページにも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、平成30年1月15日(月)～1月19日(金)の間に、「平成30センター試験成績請求票 推薦 国公立推薦入試用」を医学部入試係へ提出しなければなりません。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入試センター 試験の利用方法
国語	国語	1	前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
地理歴史	世B, 日B, 地理B	} から1	
公民	倫・政経		
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1	
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B	から1	
理科	物, 化, 生, 地学	から2 D	
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	
〔5教科7科目〕			
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 なお, 「地理歴史, 公民」の第1解答科目が指定された科目でない場合は, 合格者選考の対象とはならない。			

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験	大学入試センター試験								個別学力検査等			
	国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	小論文	面接	計
				①	②	①	②					
配点	200	(100)	(100)	100	100	-	200	200	900	200	200	400

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記180点, リスニング20点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は 出題意図の開示時期
小論文	論文・文章の内容を的確に把握した上で, 論述, 解答させることにより, 読解力, 論述力, 記述力を評価する。内容面では医療の社会性に対する認識, 科学論文に対する理解力, 推理力などを評価する。	平成30年2月2日(金) 午後4時
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して, 医学を学ぼうとする目的意識や勉強意欲, 自己認識, 協調性, 社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	/
推薦書 調査書	面接の際に参考とする。	

(1) 出願要件等

- ・愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること
- ・幅広い総合的な診療能力を身につけることを通して、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること
- ・合格した場合は入学を確約できること
- ・入学後に愛媛県の奨学金を受給し、卒業後に愛媛県知事が指定する医療機関において9年間以上勤務する義務に同意すること

以上の全てについて学校長が責任をもって推薦できる者で、以下のいずれかに該当するもの

- (1) 愛媛県内の高等学校を平成29年3月以降に卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月以降に修了した者又は平成30年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

平成29年11月25日(土)～11月26日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

小論文、面接、奨学金受給の確認の結果並びに提出された推薦書、自己推薦書及び調査書により、合否判定基準に基づき選考し、33人程度を合格させます。

小論文は和文・英文で出題し、和文での記述となります。

選抜の結果は、平成29年12月8日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、医学部掲示場を受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページにも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、平成30年1月15日(月)～1月19日(金)の間に、「平成30センター試験成績請求票 **推薦** 国公立推薦入試用」を医学部入試係へ提出しなければなりません。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(注) 愛媛県の奨学金は学費、生活費相当を貸与するものであり、大学卒業後、研修期間を含め9年間、愛媛県内の指定医療機関で勤務すれば奨学金の返還を免除されるものです。

【奨学金に関する問い合わせ先】

~~愛媛県保健福祉部管理局医療対策課~~ **愛媛県庁保健福祉部社会福祉医療局医療対策課医療政策グループ**

TEL 089-912-2449(直通)

E-mail ~~iryotaisaku@pref.ehime.jp~~ **iryotaisaku@pref.ehime.lg.jp**

URL <http://www.pref.ehime.jp/h20150/doctorbank/>

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入試センター 試験の利用方法
国語	国語	1	前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
地理歴史	世B, 日B, 地理B	} から1	
公民	倫・政経		
数学	数I, 数I・数A	から1	
	数II, 数II・数B	から1	
理科	物, 化, 生, 地学	から2 D	
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	
〔5教科7科目〕			
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 なお, 「地理歴史, 公民」の第1解答科目が指定された科目でない場合は, 合格者選考の対象とはならない。			

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験 教科等	大学入試センター試験								個別学力検査等			
	国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	小論文	面接	計
				①	②	①	②					
配点	200	(100)	(100)	100	100	-	200	200	900	200	200	400

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記180点, リスニング20点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は 出題意図の開示時期
小論文	論文・文章の内容を的確に把握した上で, 論述, 解答させることにより, 読解力, 論述力, 記述力を評価する。内容面では医療の社会性に対する認識, 科学論文に対する理解力, 推理力などを評価する。	平成30年2月2日(金) 午後4時
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して, 医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲, 自己認識, 協調性, 社会性, 奨学金受給意思などを総合的に判断して採点・評価する。	
推薦書 自己推薦書 調査書	面接の際に参考とする。	

愛媛大学医学部の基本理念等〔医学部医学科（推薦B）地域特別枠推薦入試用〕

愛媛大学医学部医学科では、地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有し、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指す者を対象に「地域特別枠推薦入試」を導入しています。

下記に示す本学部の理念等を踏まえ、貴方の地域医療に対する関心、抱負などを、本学所定の「自己推薦書」（2,000字以内）に要約して記述（自筆）してください。

記

愛媛大学医学部は、「教育の成果に関する目標」において、「患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療」を基本理念として、人権を尊重し、患者の立場に立つ優れた医療人、医学・看護学における教育者、研究者を養成するとともに、医療人の生涯学習の拠点となることを掲げています。

この目標は昭和48年9月に本学部が設立された際、愛媛県における地域医療の充実と高度先端医療の展開を目指して策定され、その後40年以上にわたり一貫して、愛媛県における医療・医学の中核となり、教育面では高度な専門知識と技能を持ち地域医療に貢献する医師の養成を行う際の根幹をなす目標として堅持してきました。

愛媛県全体としては医師数、医療の質ともに大学設立当時に比較して、格段の改善や向上がみられます。しかし、最近では、愛媛県下の山間部、島嶼部だけでなく市部においても、公立の病院や診療所などの医療機関において医師不足が顕在化し、医学部に対して医師派遣の要請が急増しています。

愛媛県内の医療・保健福祉を質・量ともに向上させるためには、卒業後愛媛県内で活躍し、医療・保健福祉業務に従事する強い意志と使命感をもつ優れた医師を養成することが必要です。

このために本学における教育において、これまで以上に地域医療に進んで従事する医師の養成に取り組むだけでなく、さらに、県内高等学校出身者を対象とする推薦入試を実施し、自らが生まれ育ち、愛着を持つ愛媛県の医療に従事する強い意志と情熱を持つ人材を受け入れて教育することにより、上記の目標を達成したいと考えています。

医学部看護学科推薦入試Ⅱは、次のページから始まります。

(1) 出願要件及び推薦要件等

以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、看護学・保健学の研究者、教育者あるいは臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの

- (1) 高等学校を平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年10月18日(水)～11月7日(火) 16時
検定料の支払期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年11月1日(水)～11月7日(火) [11月7日(火)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

平成29年11月25日(土)～11月26日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

試験場の位置については、62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

小論文、面接・グループディスカッションの結果並びに提出された推薦書及び調査書により、合否判定基準に基づき選考し、38人程度を合格させます。

小論文は和文・英文で出題します。

選抜の結果は、平成29年12月8日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、医学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページにも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、平成30年1月15日(月)～1月19日(金)の間に、「平成30センター試験成績請求票 推薦 国公立推薦入試用」を医学部入試係へ提出しなければなりません。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法					大学入試センター 試験の利用方法
国語	国語	1			前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	A	A又はB } から1(*1)	
	物, 化, 生, 地学	から1	B		
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1			
〔3教科3科目〕					
<p>◆「理科」において基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。(*2) 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。</p>					

- 注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
注2 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
注3 *2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。
注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験	大学入試センター試験								個別学力検査等			
	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	小論文	面接 グループ ディスカッション	計
①				②	①	②						
配点	100	-	-	-	-	(100)	(100)	200	400	200	100	300

- 注1 () は、選択科目の配点を示す。
注2 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は下記のとおりとする。
筆記180点、リスニング20点とする。
リスニングを免除された者は、筆記200点とする。
注3 面接・グループディスカッションの配点は合計点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は 出題意図の開示時期
小論文	和文は文章の理解力と、文章の内容をもとにして自分の考えをまとめ表現する能力などを総合的に採点・評価する。 英文は英語の読解力、考察力、自分の考えを論述する能力などを総合的に採点・評価する。	平成30年2月2日(金) 午後4時
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、看護学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
グループディスカッション	議論や議論中の態度から、個人面接の評価項目に加え、対人関係能力、状況判断能力などを総合的に判断して採点・評価する。	
推薦書 調査書	面接の際に参考とする。	

医学部看護学科では、保健師教育課程に「選択制」を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、3年次前学期終了後に選考を受けて（編入生を含む35人程度）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，理数に関する学科又は総合学科（ただし，いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を平成29年3月以降に卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時
検定料の支払期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 〔12月15日(金)の消印有効〕

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続きを行ってください。

(3) 試験期日

平成30年1月27日(土)

詳細については，50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法					大学入試センター 試験の利用方法		
国語	国語	1			総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)		
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1					
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						
数学	数Ⅰ・数A	1					
	数Ⅱ・数B	1					
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C	C又はD			} から2(*1)
	物, 化, 生, 地学	から1					
	物, 化, 生, 地学	から2	D				
	※ただし, 理科は「物理」又は「物理基礎」を含めること						
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1					〔5教科7科目〕
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。							

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験	大学入試センター試験								個別学力検査等			
	国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	面接	推薦書 調査書	計
				①	②	①	②					
配点	100	(50)	(50)	125	125	(125)	(125)又は (250)	150	800	100	100	200

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記120点, リスニング30点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準 (一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識・学力, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書・調査書	学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などについて総合的に評価する。 なお, 「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては, 必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととする。

- 注 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には, 例えばコンテストの受賞歴, 留学期間中の実績, 高大連携活動等の成果があれば記入してください。なお, 「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について, 推薦書に具体的に記載される場合は, 調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」，「物理若しくは理数物理」，「化学若しくは理数化学」の全てを修得又は修得見込みの者）を平成30年3月に卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時
検定料の支払期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 〔12月15日(金)の消印有効〕

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成30年1月27日(土)

詳細については，50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

なお，面接の口頭試問は，数学及び基礎的な英語に関するものを含みます。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法				大学入試センター 試験の利用方法	
数学	数Ⅰ・数A	1		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法を 参照)	
	数Ⅱ・数B	1			
理科	物	1	B		
〔2教科3科目〕					
◆「理科」の第1解答科目が「物理」でない場合は、合格者選考の対象とならない。					

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験	大学入試センター試験								個別学力検査等		
	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	計
				①	②	①	②				
配 点	-	-	-	100	100	-	200	-	400	200	200

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
面 接	目的意識、勉強意欲、基礎的知識・学力、自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書・調査書	面接の参考資料とし、面接に含めて評価する。必要に応じて面接において関連した質問をする。

注 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には、例えばコンテストの受賞歴、留学期間中の実績、高大連携活動等の成果があれば記入してください。なお、「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について、推薦書に具体的に記載される場合は、調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，理数に関する学科，工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- (1) 学習成績及び人物が優秀な者
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時
検定料の支払期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) [12月15日(金)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成30年1月27日(土)

詳細については，50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法					大学入試センター 試験の利用方法	
国語	国語	1			総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)	
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1				
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					
数学	数I・数A	1				
	数II, 数II・数B	から1				
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C	} から2(*1)		
	物, 化, 生, 地学	から1				
	物, 化, 生, 地学	から2	D			
	※ただし, 理科は「物理」又は「物理基礎」を含めること					
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				
〔5教科7科目〕						
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。						

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験 教科等	大学入試センター試験							個別学力検査等				
	国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	面接	推薦書 調査書	計
				①	②	①	②					
配点	200	(100)	(100)	150	150	(150)	(150)又は (300)	300	1,200	400	200	600

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記240点, リスニング60点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記300点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準 (一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書・調査書	学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などについて総合的に評価する。 なお, 「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては, 必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととする。

- 注 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には, 例えば高大連携活動等による成果を記入してもよい。なお, 「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について, 推薦書に具体的に記載される場合は, 調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，理数に関する学科，工業に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- (1) 学習成績及び人物が優秀な者
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時
検定料の支払期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) [12月15日(金)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続きを行ってください。

(3) 試験期日

平成30年1月27日(土)

詳細については，50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法					大学入試センター 試験の利用方法	
国語	国語	1			総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)	
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1				
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					
数学	数I・数A	1				
	数II, 数II・数B	から1				
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	A	} から1(*1)		
	物, 化, 生, 地学	から1	B			
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				
[5教科6科目]						
<p>◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。「理科」において基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。(*2) 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。</p>						

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注3 *2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目の合計の得点とします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験	大学入試センター試験								個別学力検査等			
	国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	面接	推薦書 調査書	計
				①	②	①	②					
配点	250	(150)	(150)	125	125	(150)	(150)	400	1,200	400	200	600

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記320点, リスニング80点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記400点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書・調査書	学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などについて総合的に評価する。 なお, 「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては, 必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととする。

- 注 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には, 例えば高大連携活動等による成果を記入してもよい。なお, 「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について, 推薦書に具体的に記載される場合は, 調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，理数に関する学科又は総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上で，人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時
検定料の支払期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) [12月15日(金)の消印有効]

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成30年1月27日(土)

詳細については，50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法						大学入試センター 試験の利用方法		
国語	国語	1				総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)		
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1						
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							
数学	数I, 数I・数A	から1						
	数II, 数II・数B	から1						
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C	C又はD	} から2(*1)			
	物, 化	から1						
	物, 化	2	D					
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1						
[5教科7科目]								
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。								

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験	大学入試センター試験								個別学力検査等			
	国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	面接	推薦書 調査書	計
				①	②	①	②					
配点	100	(50)	(50)	100	100	(100)	(100)又は (200)	200	750	100	100	200

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記160点, リスニング40点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識・学力, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書・調査書	学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などについて総合的に評価する。 なお, 「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては, 必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととする。

注 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には, (1)~(4)に記載されていない事項について, 例えばコンテストの受賞歴, 留学期間中の実績, 高大連携活動等の成果があれば記入してください。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科（ただし，いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を平成30年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時
検定料の支払期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 〔12月15日(金)の消印有効〕

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

平成30年1月27日(土)

詳細については，50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，62ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法					大学入試センター 試験の利用方法	
国語	国語	1			総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)	
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1				
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					
数学	数Ⅰ・数A	1				
	数Ⅱ・数B	1				
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C	} から2(*1)		
	物, 化, 生, 地学	から1				
	物, 化, 生, 地学	から2	D			
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				
〔5教科7科目〕						
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。						

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試験	大学入試センター試験								個別学力検査等		
	国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	面接	計
				①	②	①	②				
配点	100	(50)	(50)	125	125	(125)	(125)又は(250)	150	800	200	200

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記120点, リスニング30点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準 (一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書	面接において参考資料とし, 面接に含めて評価する。
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては, 必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし, 面接の評価点に含める。

- 注 調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には, 例えばコンテストの受賞歴, 留学期間中の実績, 高大連携活動等の成果があれば記入してください。なお, 「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について, 推薦書に具体的に記載される場合は, 調査書の該当欄は「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

試験期日及び試験時間

学部	学科等	試験期日等
医学部	医学科	推薦A 平成29年11月25日(土)午前9時～11月26日(日) 推薦B 小論文(180分), 面接
	看護学科	平成29年11月25日(土)午前9時～11月26日(日) 小論文(120分), 面接・グループディスカッション
工学部	機械工学科 電気電子工学科 環境建設工学科 土木工学コース 社会デザインコース 機能材料工学科 情報工学科	平成30年1月27日(土)午前9時から面接

注1 志願者数により時間等を変更することがありますが、その場合は、受験票を送付する際にお知らせします。(受験票等の発送については、10ページ参照)

注2 工学部の受験の際には、大学入試センター試験の受験票を必ず持参してください。

注3 医学部医学科の面接及び看護学科の面接・グループディスカッションの日時の詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

事項	合 否 判 定 基 準		
	総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
学部等			
医学部 医学科 第1次選抜 第2次選抜	○	※1○	(第2次選抜) ① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、小論文の得点により順位を付ける。 ③ 小論文の得点が同点の場合は、調査書の「全体の評定平均値」が高い順とする。
看護学科 第1次選抜 第2次選抜	○	※2○	(第1次選抜) 同点者は、同順位とする。 (第2次選抜) ① 同点者は、面接・グループディスカッションの得点により順位を付ける。 ② 面接・グループディスカッションの得点が同点の場合は、調査書の「全体の評定平均値」が高い順とする。
工学部	○		同点者は、同順位とする。

※1 第1次選抜については、小論文、面接及び提出書類を総合的に判断して合否を判定する。

※2 面接・グループディスカッションの評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を検討することがある。

合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

平成30年2月2日(金) 午後4時

(2) 合格者発表の方法

- 1) 合格者については、当該学部掲示場に受験番号で発表します。
なお、出身学校長へ選考結果の通知書等を送付します。
- 2) 合格通知書、入学手続関係書類及び入学案内を合格者に送付します。(医学部は受験者全員に合否結果を送付します。)
- 3) 愛媛大学ホームページに合格者受験番号を掲載します。(午後4時30分頃)
ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記1)又は2)の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

(注) 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

試験当日等に大学周辺で行われている合否電報等の受付については、本学と一切関係ありません。

入学手続

合格者は、下記の期間内に郵送により入学手続を行ってください。詳細については、合格通知の際にお知らせします。

なお、入学手続は60ページの「10 入学手続及び初年度の諸経費」を参照してください。

入学手続期間

平成30年2月7日(水)～2月9日(金) 必着

なお、やむを得ず持参する場合は、2月7日(水)午後5時までに各学部入試係(68ページを参照)に電話連絡の上、2月7日(水)又は2月9日(金)午後5時までに持参してください。

7 留意事項

- (1) 本学の推薦入試合格者は、他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。詳細は公立大学協会ホームページ <http://www.kodaikyo.org/nyushi>を参照)の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
ただし、特別の事情により、平成30年2月14日(水)までに、推薦した出身学校長から、「推薦入学辞退願」が提出され、本学の入学辞退許可を得た場合は、この限りではありません。
また、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (2) 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取り扱います。この場合、出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- (3) 入学手続完了後でも、高等学校を卒業しない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。
- (4) 合格の後、入学を辞退した場合は、翌年度以降の推薦入試において、当該学校からの推薦入試の出願を受理しないことがあります。
- (5) 医学部医学科〔推薦B〕による選抜では、地域医療の担い手となるために必要・不可欠な資質を評価します。このため、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (6) 個別学力検査等の出願
(本学推薦入試が不合格となった場合に備えての出願)
ア 大学入試センター試験を課す課さないにかかわらず、推薦入試の出願は1つの大学・学部等に限られますが(詳細は、3ページを参照)、本学推薦入試に不合格となった場合に備えて、「前期日程」グループの大学・学部等から1つ、「後期日程」グループの大学・学部等から1つ、「公立大学中期日程」グループの大学・学部等から1つの合計3つの大学・学部等に出願することができます。この場合は、大学入試センター試験について、出願する大学の指定する教科・科目を受験しておく必要があります。
イ 本学の個別学力検査等に出願する場合は、本学が別途作成している「平成30年度一般入試学生募集要項」(平成29年11月上旬本学ホームページにて発表予定)により、所定の出願受付期間内に出願及び必要書類の提出をしてください。(一般入試は、インターネット出願となっております。)

障がい等を有する者で、受験上又は修学上配慮を必要とするものは、随時相談に応じますので、志願学部の入試係までご相談ください。ただし、重度の障がい等を有する場合は、できるだけ早い時期にご連絡をお願いします。（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります。）

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(注) 相談は障がい等を有する志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法や在り方を模索するためのもので、障がい等を有する方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。なお、出願の期限までに提出できなかった場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

- ・ 受験上等配慮申請書 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>よりダウンロード)
- ・ 身体障害者手帳の写し、又は医師の診断書（写しでも可）等で、障がい等の状況が確認できるもの
※ 診断書が発行されない場合はその旨を申し出てください。
- ・ 大学入試センターからの通知書の写し（大学入試センター試験の受験上の配慮の決定を受けた者）

(2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上又は修学上の配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係（68ページの学部等照会先参照）

法文学部人文社会学科「昼間主コース」, 「夜間主コース」推薦入試

生徒氏名欄の右の「コース」には昼間主・夜間主の別を記入してください。「サブコース」の記入は不要です。

推薦理由等の欄は、以下の1～3の順に項目を分けて記入してください。

1. 学 業

- (1) 本人が大学において高等専門教育を受けるにふさわしい者として推薦される「学業上の根拠」について記入してください。
- (2) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

2. 人 物

人物について、具体的に記入してください。

3. 課外活動・資格・その他

校内及び校外における活動について、その活動状況を学年別に記入してください。また、調査書に記載された活動・資格に関しては、以下の(例)を参考に、具体的状況を記載してください。(例のとおりに記載する必要はありません。)

(例1) 語学留学：時期、期間、利用した留学制度、学習内容など

(例2) 部活動成績：大会の規模、大会の位置づけなど

(例3) 資格、ボランティア活動：時期、期間、母体組織、活動内容など

調査書の「指導上参考になる諸事項」の「(5)その他」の欄には、例えば高大連携活動等による成果を記入してもかまいません。また、その関連書類等を添付してもかまいません。関連書類等を添付する場合には、必ずA4用紙片面2枚以内にまとめたものを調査書又は推薦書の封筒に同封してください。なお、「指導上参考になる諸事項」の(1)から(5)について、推薦書に具体的に記載される場合は、「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

教育学部推薦入試

推薦書の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的に事実に基づいて記述してください。
推薦理由等の欄は、以下の1～4の順に項目を分けて記入してください。

1. 学業について

- (1) 本人が大学において高等専門教育を受けるにふさわしい者として推薦される「学業上の根拠」について記入してください。
- (2) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

2. 人物について

本人の特性及び生活態度等について記入してください。

3. 特別活動等について

特別活動（クラブ活動、生徒会活動）及び課外活動（部活動）等について、本人の果たした役割や活動の状況等を具体的に記入してください。

4. その他の特記事項

- (1) 本人の社会的活動、生活態度、趣味、特技等について記入してください。
- (2) その他、本人について特記すべき事項があれば、すべて記入してください。

理 学 部 推 薦 入 試

1. 志望する学科

本人が志望する学科を記入してください。

なお、学科は次のとおりです。

生 物 学 科

地 球 学 科

2. 推薦理由等の欄には、上記学科へ推薦する理由を以下の1)～3)の順に項目を分けて具体的に記入してください。

(注) ① 各学科の内容については、「愛媛大学理学部案内」を参照してください。

② 学科への分属は、受験時に志望した学科となります。

したがって、志望する学科の内容を理解いただき、本人の希望を十分に聴取の上、記入してください。

1) 学業について

(1) 本人が大学において高等専門教育を受けるに足るとして推薦される「学業上の根拠」について記入してください。

(2) 授業中の活動状況、勉学の自主性、計画性、持続性、理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

2) 特別活動等について

調査書の「特別活動の記録」欄においても記述がありますが、なお一層具体的に記入してください。

例えば、特別活動（クラブ活動、生徒会活動）及び課外活動（スポーツ、文化活動やボランティア活動等の諸活動）等について、本人の果たした役割や活動の状況等を具体的に記入してください。

3) 人物及びその他の特記事項について

(1) 人物について、具体的に記入してください。

(2) 本人の社会的活動、生活態度、特技、取得資格等について記入してください。

(3) その他、本人について特記すべき事項があれば、記入してください。

医学部推薦入試

1. 志望する学科

本人が志望する学科を記入してください。

なお、学科は次のとおりです。

医学科

看護学科

2. 推薦理由について

(1) 上記学科へ推薦する理由について、具体的に記入してください。

(注) 各学科の内容については、「愛媛大学ガイドブック」及び「医学部看護学科案内」を参照してください。

(2) その他、特記することがあれば記入してください。(特別活動、資格取得など)

工 学 部 推 薦 入 試

1. 志望する学科等

本人が志望する学科等を記入してください。環境建設工学科についてはコース名を記入してください。
なお、学科等は次のとおりです。

機 械 工 学 科
電 気 電 子 工 学 科
環 境 建 設 工 学 科 土 木 工 学 コー ス
 〃 社 会 デ ザ イ ン コー ス
機 能 材 料 工 学 科
応 用 化 学 科
情 報 工 学 科

2. 推薦理由について

(1) 上記学科へ推薦する理由について、具体的に記入してください。

(注) 各学科の内容については、「愛媛大学工学部案内」を参照してください。

(2) その他、特記することがあれば記入してください。(特別活動、資格取得など)

農 学 部 推 薦 入 試

1. 志望する学科名，コース名

推薦Aにおいては，本人が志望する学科名のみを記入してください。

推薦Bにおいては，本人が志望する学科名及びコース名を記入してください。

なお，学科及びコースは次のとおりです。

- 食料生産学科
 - 農業生産学コース
 - 植物工場システム学コース
 - 食料生産経営学コース
- 生命機能学科
 - 応用生命化学コース
- 生物環境学科
 - 森林資源学コース
 - 地域環境工学コース
 - 環境保全学コース

2. 推薦理由等の欄は，以下の1)～4)の順に項目を分けて記入してください。

1) 上記学科又はコースへ推薦する理由について

上記学科又はコースへ推薦する理由について，具体的に記入してください。

(注) ① 各学科又はコースの教育内容等については，「愛媛大学農学部案内」を参照してください。

② 推薦Aにおいて，コースへの所属は，本人の志望と入学後に修得した成績を基に，2年次前学期開始時に決定します。

③ 推薦Bにおいては，入学時から，受験時に志望したコースへ所属します。

したがって，志望するコースの内容を理解いただき，本人の希望を十分に聴取の上，記入してください。(入学後のコースの変更はできません。)

2) 学業について

(1) 本人が大学において高等専門教育を受けるに足るとして推薦される「学業上の根拠」について記入してください。

(2) 授業中の活動状況，勉学の自発性，計画性，持続性，理解力，創造的思考能力等につき，なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

3) 特別活動等について

調査書の「特別活動の記録」欄においても記述がありますが，なお一層具体的に記入してください。

例えば，特別活動（クラブ活動，生徒会活動）及び課外活動（スポーツ，文化活動やボランティア活動等の諸活動）等について，本人の果たした役割や活動の状況等を具体的に記入してください。

4) 人物及びその他の特記事項について

(1) 人物について，具体的に記入してください。

(2) 本人の社会的活動，生活態度，特技，取得資格等について記入してください。

(3) その他，本人について特記すべき事項があれば，すべて記入してください。

10 入学手続及び初年度の諸経費

1. 入学手続

入学手続は、定められた期間内に郵送により手続を行ってください。

なお、合格者には、合格通知の際に入学手続の案内を送付します。

(1) 必要書類等

書 類 等	摘 要	備 考
宣 誓 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの	合格通知書とともに送付します。
保 証 書	同上	
学 生 記 録	同上	
学 生 証 写 真 票	同上	
平成30年度大学入試センター試験受験票	大学入試センター発行のもの（大学入試センター試験に出願していない者は不要）	入学手続完了後に返還します。
平成30年度愛媛大学受験票	本学発行のもの	
入 学 資 格 証 明 書	卒業証明書又はこれに代わる証明書	在学中の者は、卒業後に提出してください。
住 民 票 の 写 し	市区町村長が発行したもの (日本国籍を有しない者のみ提出してください。)	
写 真 (白黒又はカラー)	縦4cm×横3cmのもの2枚(上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したもの) 1枚は、学生記録の写真欄に貼ってください。 1枚は、学生証写真票に貼ってください。	
誓 約 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの (医学部医学科(地域特別枠推薦)[推薦B]の合格者のみ提出してください。)	合格通知書とともに送付します。

(2) 注意事項

- ① 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。
- ② 「大学入試センター試験受験票」を紛失した場合は、大学入試センターに再発行の申請をし、再発行された受験票を提出してください。再発行を受けた場合、当初発行のものは無効となります。
申請方法は、「大学入試センター試験受験案内」を参照してください。

2. 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入 学 料	授 業 料	その他の経費	計
法 文 学 部 「昼間主コース」	282,000円	年 額 535,800円 〔前期分 267,900円〕	71,660円	889,460円
教 育 学 部			64,660円	882,460円
理 学 部			64,660円	882,460円
医 学 部			152,800円 (84,370円)	970,600円 (902,170円)
工 学 部			64,660円	882,460円
農 学 部			70,660円	888,460円
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000円	年 額 267,900円 〔前期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注1 入学料及び授業料の額は、平成29年度納付額であり、平成30年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費は、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費及び校友会費等の合計金額（金額については変更される場合があります。）です。

注3 医学部（ ）内は、看護学科の金額を示します。

3. 納付金の納入

(1) 入 学 料 **282,000円**（法文学部「夜間主コース」は、**141,000円**）

納入期間 受験した推薦入試の入学手続期間

(2) 授 業 料 前期分**267,900円**〔年額**535,800円**〕

（法文学部「夜間主コース」は、前期分**133,950円**〔年額**267,900円**〕）

注1 納入期間等については、合格通知の際にお知らせします。

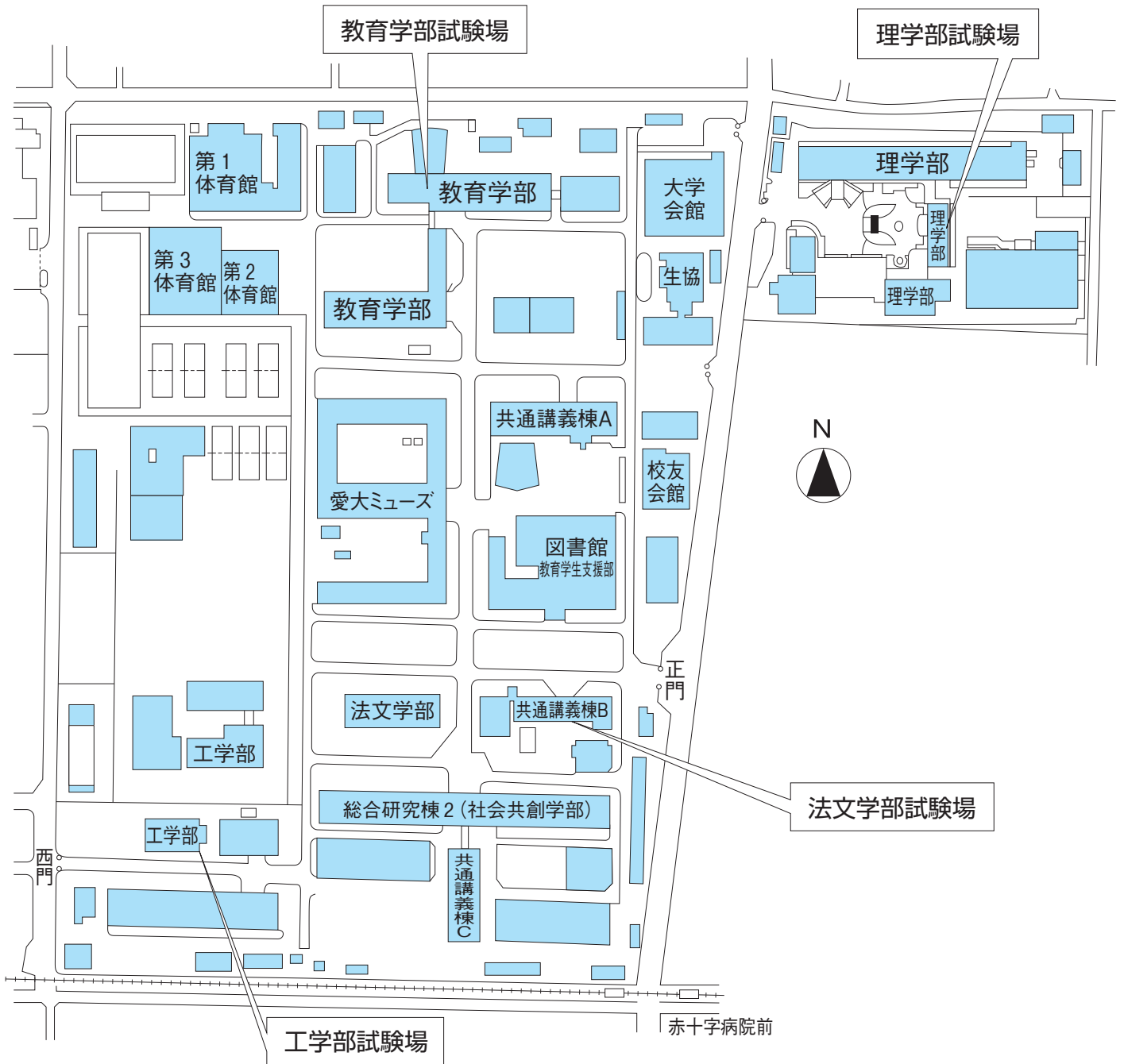
注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3 法文学部では、長期履修学生制度（職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度）を導入しています。授業料納入の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

4. 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

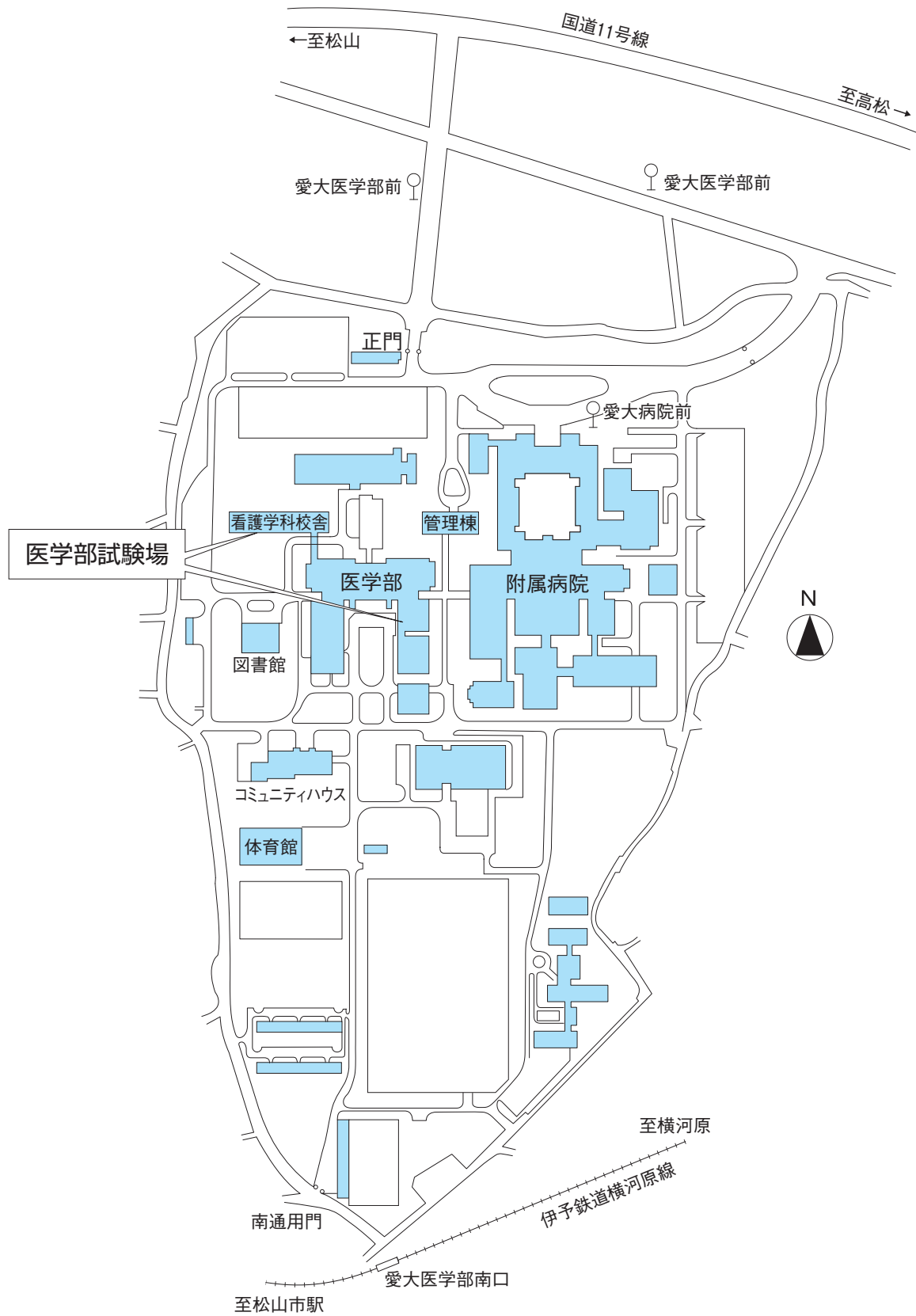
① 法文学部，教育学部，理学部，工学部

城北キャンパス



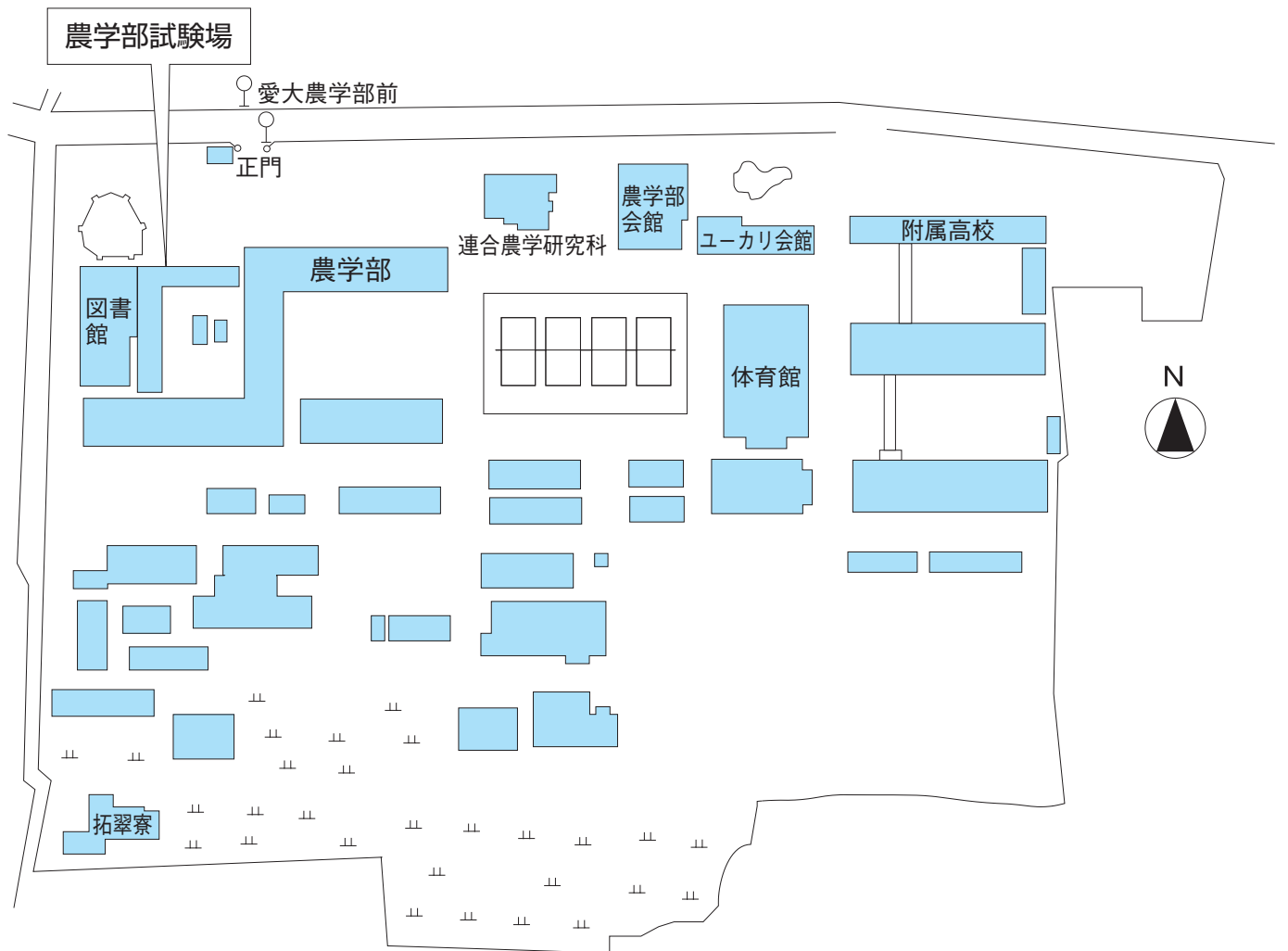
② 医学部

重信キャンパス



③ 農学部

樽味キャンパス



交通機関案内

城北キャンパス(法文学部, 教育学部, 理学部, 工学部)

● JR松山駅から

伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅前回り 乗車約28分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

重信キャンパス(医学部)

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町(JR松山駅から東へ徒歩5分)から横河原行き 乗車約34分
愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

● 松山市駅から

伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約40分 愛媛大学医学部前又は愛大病院前下車 徒歩10分

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約50分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

樽味キャンパス(農学部)

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線(東野経由) JR松山駅前から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線(東野経由) 松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

松山観光港, 松山空港をご利用の方は, JR松山駅前又は松山市駅で乗り換えてください。

● 松山観光港からJR松山駅

伊予鉄バス 松山観光港リムジンバス 松山観光港から道後温泉駅前行き 乗車約20分 JR松山駅前下車

● 松山観光港から松山市駅

伊予鉄バス 松山観光港リムジンバス 松山観光港から道後温泉駅前行き 乗車約26分 松山市駅下車

● 松山空港からJR松山駅

伊予鉄バス 空港リムジンバス 松山空港からJR松山駅前 乗車約20分 JR松山駅前下車

● 松山空港から松山市駅

伊予鉄バス 空港リムジンバス 松山空港から松山市駅 乗車約25分 松山市駅下車

(注) 電車, バス等の運行時刻については, 受験者各自が確認してください。

各種交通機関
ホームページ

●JR四国 <http://www.jr-shikoku.co.jp/>
●伊予鉄道 <http://www.iyotetsu.co.jp/>

●松山観光港 <http://www.kankoko.com/>
●松山空港 <http://www.matsuyama-airport.co.jp/>

12 入学試験個人成績及び調査書の開示

本学では、推薦入試の個人成績及び調査書（「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄は除く。）を受験者本人に限って開示します。平成30年度入学試験の個人成績及び調査書の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、志望学部学科等の個別学力検査等において、1科目でも受験しなかった場合は、個人成績及び調査書を開示しません。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：平成30年5月1日(火)～平成30年5月31日(木)

郵送による請求のみとし、この**期間内の消印**があるものに限り受け付けます。

請求方法：書面（記入例参照）により、平成30年度愛媛大学受験票又は平成30年度大学入試センター試験受験票と、402円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（68ページ参照）へ請求してください。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：当該学部に着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

（請求書面記入例）

	平成30年	月	日
愛媛大学〇〇学部長	殿		
	請求者氏名	_____	㊞
	愛媛大学受験番号	_____	
	連絡先 電話	-	-
	入学試験個人成績・調査書 開示請求書		
	平成30年度の推薦入試について、下記のとおり開示請求します。		
	記		
	1. 試験成績		
	2. 調査書		
	開示請求するものを明記してください。		

13 正解・解答例又は出題意図の開示

本学では、平成30年度入学試験の正解・解答例又は出題意図の開示を次のとおり行います。

掲示による場合

場 所：各学部掲示場

掲示期間：開示日から2週間

郵送による場合

92円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し、「志願学部の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書きの上、志願した学部の入試係（68ページ参照）へ請求してください。

受付期間：原則として開示日以降1か月間

14 個人情報取扱

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

15 入学試験の照会方法

入学試験について文書にて照会する場合は、82円分の切手を貼った定形の返信用封筒を同封してください。

インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター（8ページ参照）へ連絡してください。

学 部	入 試 係 の 住 所 ・ 電 話	
法 文 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部入試係	TEL 089-927-9221
教 育 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部入試係	TEL 089-927-9377
理 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学理学部入試係	TEL 089-927-9546
医 学 部	〒791-0295 東温市志津川 愛媛大学医学部入試係	TEL 089-960-5175
工 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学工学部入試係	TEL 089-927-9697
農 学 部	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 愛媛大学農学部入試係	TEL 089-946-9648

■平成29年度 入学者選抜当初合格者の成績一覧

区分	学部	学科・課程等	募集人員	当初合格者数	大学入試センター試験				個別試験				総合点				
					満点	最高点	最低点	平均点	満点	最高点	最低点	平均点	満点	最高点	最低点	平均点	
推薦入試Ⅰ	法学部	人文社会科学「昼間主コース」	10	10					800	595.00	532.33	557.40	800	595.00	532.33	557.40	
		人文社会科学「夜間主コース」	10	14					800	624.67	511.00	565.14	800	624.67	511.00	565.14	
	教育学部	学校教育教員養成課程	10	10					300	234.00	227.00	230.50	300	234.00	227.00	230.50	
		初等教育コース 小学校サブコース	10	10					300	234.00	227.00	230.50	300	234.00	227.00	230.50	
	理学部	生物学科	7	7					300	開示しない				300	開示しない		
		地球科学科	8	11					300	260.00	237.00	244.73	300	260.00	237.00	244.73	
	工学部	機械工学科	2	2					600	開示しない				600	開示しない		
		電気電子工学科	5	5					600	開示しない				600	開示しない		
		環境建設工学科	土木工学コース	8	8					600	開示しない				600	開示しない	
			社会デザインコース	3	4					600	開示しない				600	開示しない	
		機能材料工学科	3	0					600	受験者なし				600	受験者なし		
		応用化学科	5	5					600	開示しない				600	開示しない		
		情報工学科	2	3					400	開示しない				400	開示しない		
	農学部	食料生産学科	推薦A	8	9					200	開示しない				200	開示しない	
			推薦B	農業生産学コース	3				200	開示しない				200	開示しない		
				植物工場システム学コース	10	2			200	開示しない				200	開示しない		
				食料生産経営学コース	5				200	開示しない				200	開示しない		
		生命機能学科	推薦A	3	3					200	開示しない				200	開示しない	
			推薦B	3	3					200	開示しない				200	開示しない	
		生物環境学科	推薦A	9	9					200	開示しない				200	開示しない	
推薦B			森林資源学コース	3				200	開示しない				200	開示しない			
			地域環境工学コース	7	3			200	開示しない				200	開示しない			
	環境保全学コース	3				200	開示しない				200	開示しない					

区分	学部	学科等	募集人員	当初合格者数	大学入試センター試験				個別試験				総合点					
					満点	最高点	最低点	平均点	満点	最高点	最低点	平均点	満点	最高点	最低点	平均点		
推薦入試Ⅱ	医学部	医学科	推薦A	25	25	900	806.80	694.40	740.75	400	333.00	287.00	307.68	1,300	1,138.80	985.40	1,048.43	
			推薦B	20	20	900	853.60	701.20	766.57	400	333.00	225.00	262.80	1,300	1,163.60	961.80	1,029.37	
		看護学科	24	24	400	347.20	264.30	293.53	300	235.00	166.00	189.71	700	558.40	439.30	483.23		
	工学部	機械工学科	11	11	800	574.70	449.65	495.66	200	170.00	130.00	149.00	1,000	726.70	597.85	644.66		
		電気電子工学科	8	7	400	開示しない				200	開示しない				600	開示しない		
		環境建設工学科	土木工学コース	5	5	1,200	開示しない				600	開示しない				1,800	開示しない	
			社会デザインコース	3	3	1,200	開示しない				600	開示しない				1,800	開示しない	
		機能材料工学科	7	7	700	開示しない				200	開示しない				900	開示しない		
		情報工学科	7	7	800	開示しない				200	開示しない				1,000	開示しない		

注) 当初合格者が10人未満の場合は開示しないことになっています。
 は、大学入試センター試験を課さないものです。

■平成29年度 志願者数等状況

推薦入試Ⅰ

学部	学 科 ・ 課 程 等	募集人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数				
			男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計		
法文学部	人文社会科学「昼間主コース」	10	29	44	73	7.3	29	44	73	1	9	10	7.3	1	9	10		
	人文社会科学「夜間主コース」	10	16	27	43	4.3	16	27	43	4	10	14	3.1	4	10	14		
	計	20	45	71	116	5.8	45	71	116	5	19	24	4.8	5	19	24		
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	10	12	38	50	5.0	12	38	50	0	10	10	5.0	0	10	10		
理学部	生物 学 科	7	9	9	18	2.6	9	9	18	3	4	7	2.6	3	4	7		
	地 球 科 学 科	8	14	8	22	2.8	14	8	22	6	5	11	2.0	6	5	11		
	計	15	23	17	40	2.7	23	17	40	9	9	18	2.2	9	9	18		
工学部	機 械 工 学 科	2	2	0	2	1.0	2	0	2	2	0	2	1.0	2	0	2		
	電 気 電 子 工 学 科	5	6	0	6	1.2	6	0	6	5	0	5	1.2	5	0	5		
	環境建設工学科	土木工学コース	8	22	3	25	3.1	22	3	25	5	3	8	3.1	5	3	8	
		社会デザインコース	3	6	7	13	4.3	6	7	13	1	3	4	3.3	1	3	4	
	機 能 材 料 工 学 科	3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0		
	応 用 化 学 科	5	3	11	14	2.8	3	11	14	1	4	5	2.8	1	4	5		
	情 報 工 学 科	2	6	1	7	3.5	6	1	7	3	0	3	2.3	3	0	3		
計	28	45	22	67	2.4	45	22	67	17	10	27	2.5	17	10	27			
農学部	食料生産学科	推薦 A	8	13	21	34	4.3	13	21	34	3	6	9	3.8	3	6	9	
		推薦 B	農業生産学コース	4	2	6		4	2	6	2	1	3		2	1	3	
			植物工場システム学コース	10	2	1	3	1.7	2	1	3	2	0	2	1.7	2	0	2
		食料生産経営学コース	3	5	8		3	5	8	2	3	5		2	3	5		
	生命機能学科	推薦 A	3	6	11	17	5.7	6	11	17	1	2	3	5.7	1	2	3	
		推薦 B	応用生命化学コース	3	4	5	9	3.0	4	5	9	0	3	3	3.0	0	3	3
	生物環境学科	推薦 A	9	14	6	20	2.2	14	6	20	5	4	9	2.2	5	4	9	
		推薦 B	森林資源学コース	3	2	5		3	2	5	1	2	3		1	2	3	
			地域環境工学コース	7	2	1	3	2.1	2	1	3	2	1	3	1.7	2	1	3
			環境保全学コース	7	0	7		7	0	7	3	0	3		3	0	3	
計	40	58	54	112	2.8	58	54	112	21	22	43	2.6	21	22	43			
合 計	113	183	202	385	3.4	183	202	385	52	70	122	3.2	52	70	122			

推薦入試Ⅱ

学部	学 科 ・ コ ー ス 等	募集人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数			
			男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計	
医学部	医 学 科	推薦 A	(第1次選抜)	25	33	37	70	2.8	33	37	70	12	19	31	/	/	/
			(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	9	16	25	2.8	9	16
	推薦 B	(第1次選抜)	20	32	28	60	3.0	32	28	60	13	20	33	/	/	/	
		(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	10	10	20	3.0	10	10	20
	看 護 学 科	(第1次選抜)	24	2	53	55	2.3	2	53	55	2	37	39	/	/	/	
		(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	1	23	24	2.3	1	23	24
計	(第1次選抜)	69	67	118	185	2.7	67	118	185	27	76	103	/	/	/		
	(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	20	49	69	2.7	20	49	69	
工学部	機 械 工 学 科	11	23	2	25	2.3	23	2	25	11	0	11	2.3	11	0	11	
	電 気 電 子 工 学 科	8	9	0	9	1.1	9	0	9	7	0	7	1.3	7	0	7	
	環境建設工学科	土木工学コース	5	11	1	12	2.4	8	1	9	4	1	5	1.8	4	1	5
		社会デザインコース	3	1	5	6	2.0	1	5	6	1	2	3	2.0	1	2	3
	機 能 材 料 工 学 科	7	11	1	12	1.7	11	1	12	6	1	7	1.7	6	1	7	
	情 報 工 学 科	7	21	2	23	3.3	21	2	23	7	0	7	3.3	7	0	7	
計	41	76	11	87	2.1	73	11	84	36	4	40	2.1	36	4	40		
合 計	110	143	129	272	2.5	140	129	269	56	53	109	2.5	56	53	109		

■平成28年度 志願者数等状況

推薦入試Ⅰ

学部	学科・課程等	募集人員	志願者数				受験者数			合格者数				入学者数				
			男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計		
法文学部	人文社会科学「昼間主コース」	10	23	46	69	6.9	23	46	69	4	6	10	6.9	4	6	10		
	人文社会科学「夜間主コース」	10	15	13	28	2.8	15	13	28	7	7	14	2.0	7	7	14		
	計	20	38	59	97	4.9	38	59	97	11	13	24	4.0	11	13	24		
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	10	11	45	56	5.6	11	45	56	2	8	10	5.6	2	8	10		
理学部	生物学科	7	13	11	24	3.4	13	11	24	4	3	7	3.4	4	3	7		
	地球科学科	8	18	6	24	3.0	18	6	24	10	4	14	1.7	10	4	14		
	計	15	31	17	48	3.2	31	17	48	14	7	21	2.3	14	7	21		
工学部	機械工学科	2	5	0	5	2.5	5	0	5	2	0	2	2.5	2	0	2		
	電気電子工学科	5	6	0	6	1.2	6	0	6	5	0	5	1.2	5	0	5		
	環境建設工学科	土木工学コース	8	17	2	19	2.4	17	2	19	7	1	8	2.4	7	1	8	
		社会デザインコース	3	3	0	3	1.0	3	0	3	3	0	3	1.0	3	0	3	
	機能材料工学科	3	2	0	2	0.7	2	0	2	2	0	2	1.0	2	0	2		
	応用化学科	5	10	8	18	3.6	10	8	18	3	3	6	3.0	3	3	6		
	情報工学科	2	10	0	10	5.0	10	0	10	4	0	4	2.5	4	0	4		
計	28	53	10	63	2.3	53	10	63	26	4	30	2.1	26	4	30			
農学部	食料生産学科	推薦 A	8	12	12	24	3.0	12	12	24	5	5	10	2.4	5	5	10	
		推薦 B	農業生産学コース	7	1	8		7	1	8	2	0	2		2	0	2	
			植物工場システム学コース	10	3	1	4	1.8	3	1	4	3	1	4	1.8	3	1	4
			食料生産経営学コース	4	2	6		4	2	6	2	2	4		2	2	4	
	生命機能学科	推薦 A	3	1	10	11	3.7	1	10	11	0	3	3	3.7	0	3	3	
		推薦 B	3	6	3	9	3.0	6	3	9	2	1	3	3.0	2	1	3	
	生物環境学科	推薦 A	9	7	11	18	2.0	7	11	18	1	10	11	1.6	1	10	11	
		推薦 B	森林資源学コース	4	0	4		4	0	4	4	0	4		4	0	4	
			地域環境工学コース	7	1	1	2	1.1	1	1	2	0	1	1	1.1	0	1	1
			環境保全学コース	1	1	2		1	1	2	1	1	2		1	1	2	
計	40	46	42	88	2.2	46	42	88	20	24	44	2.0	20	24	44			
合計	113	179	173	352	3.1	179	173	352	73	56	129	2.7	73	56	129			

推薦入試Ⅱ

学部	学科・コース等	募集人員	志願者数				受験者数			合格者数				入学者数			
			男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計	
医学部	医学科	推薦 A	(第1次選抜)	25	36	46	82	3.3	36	46	82	14	19	33	/	/	/
			(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	11	14	25	3.3	11	14
	推薦 B	(第1次選抜)	20	40	24	64	3.2	40	24	64	19	16	35	/	/	/	
		(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	11	9	20	3.2	11	9	20
	看護学科	(第1次選抜)	24	1	37	38	1.6	1	37	38	1	33	34	/	/	/	
		(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	0	24	24	1.6	0	24	24
計	(第1次選抜)	69	77	107	184	2.7	77	107	184	34	68	102	/	/	/		
(第2次選抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	22	47	69	2.7	22	47	69	
工学部	機械工学科	11	22	2	24	2.2	22	2	24	10	1	11	2.2	10	1	11	
	環境建設工学科	土木工学コース	5	16	1	17	3.4	16	1	17	5	0	5	3.4	5	0	5
		社会デザインコース	3	4	0	4	1.3	4	0	4	3	0	3	1.3	3	0	3
	機能材料工学科	7	13	6	19	2.7	13	6	19	5	2	7	2.7	5	2	7	
	情報工学科	7	15	1	16	2.3	15	1	16	6	1	7	2.3	6	1	7	
計	33	70	10	80	2.4	70	10	80	29	4	33	2.4	29	4	33		
合計	102	147	117	264	2.6	147	117	264	51	51	102	2.6	51	51	102		

■平成27年度 志願者数等状況

推薦入試Ⅰ

学部	学 科 ・ 課 程 等	募集人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数				
			男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計		
法文学部	総合政策学科「昼間主コース」	15	19	39	58	3.9	19	39	58	4	11	15	3.9	4	11	15		
	総合政策学科「夜間主コース」	15	11	18	29	1.9	11	18	29	3	12	15	1.9	3	12	15		
	計	30	30	57	87	2.9	30	57	87	7	23	30	2.9	7	23	30		
教育学部	総合人間形成課程	国際理解教育コース	5	2	10	12	2.4	2	10	12	0	5	5	2.4	0	5	5	
		生活環境コース	8	3	12	15	1.9	3	12	15	1	7	8	1.9	1	7	8	
		人間社会デザインコース	6	2	10	12	2.0	2	10	12	1	5	6	2.0	1	5	6	
	スポーツ健康科学課程	10	28	20	48	4.8	28	20	48	4	6	10	4.8	4	6	10		
	芸術文化課程	音楽文化コース	4	3	13	16	4.0	3	13	16	1	3	4	4.0	1	3	4	
	計	33	38	65	103	3.1	38	65	103	7	26	33	3.1	7	26	33		
理学部	生物学科	7	12	4	16	2.3	12	4	16	6	2	8	2.0	6	2	8		
	地球科学科	8	15	7	22	2.8	15	7	22	8	4	12	1.8	8	4	12		
	計	15	27	11	38	2.5	27	11	38	14	6	20	1.9	14	6	20		
工学部	機械工学科	2	5	0	5	2.5	5	0	5	2	0	2	2.5	2	0	2		
	電気電子工学科	5	7	0	7	1.4	7	0	7	4	0	4	1.8	4	0	4		
	環境建設工学科	土木工学コース	8	18	0	18	2.3	18	0	18	8	0	8	2.3	8	0	8	
		社会デザインコース	3	6	5	11	3.7	6	5	11	2	1	3	3.7	2	1	3	
	機能材料工学科	3	9	0	9	3.0	8	0	8	4	0	4	2.0	4	0	4		
	応用化学工学科	5	6	12	18	3.6	6	12	18	0	5	5	3.6	0	5	5		
情報工学科	2	3	1	4	2.0	3	1	4	3	1	4	1.0	3	1	4			
	計	28	54	18	72	2.6	53	18	71	23	7	30	2.4	23	7	30		
農学部	生物資源学科	推薦 A	生物生産システム学	16	10	3	13	3.4	10	3	13	2	1	3	2.5	2	1	3
			施設生産システム学	0	0	1	1		0	1	1	0	1	1		0	1	1
			資源・環境政策学	3	3	4	7		3	4	7	1	2	3		1	2	3
			応用生命化学	6	3	11	14		3	11	14	0	2	2		0	2	2
			森林資源学	5	5	1	6		5	1	6	1	1	2		1	1	2
		地域環境工学	6	6	0	6	6	0	6	5	0	5	5	0	5			
		生物環境保全学	4	4	3	7	4	3	7	3	3	6	3	3	6			
		小計	16	31	23	54	3.4	31	23	54	12	10	22	2.5	12	10	22	
		推薦 B	生物生産システム学	12	4	1	5	1.6	4	1	5	0	1	1	1.7	0	1	1
			施設生産システム学	2	2	0	2		2	0	2	2	0	2		2	0	2
	資源・環境政策学		1	1	2	3	1		2	3	1	2	3	1		2	3	
	応用生命化学		4	4	0	4	4		0	4	2	0	2	2		0	2	
	森林資源学		1	1	2	3	1		2	3	0	2	2	0		2	2	
	地域環境工学	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1				
	生物環境保全学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	小計	12	14	5	19	1.6	14	5	19	6	5	11	1.7	6	5	11		
	推薦 C	生物生産システム学	12	2	1	3	0.8	2	1	3	1	0	1	2.0	1	0	1	
		施設生産システム学	1	1	0	1		1	0	1	1	0	1		1	0	1	
		資源・環境政策学	1	1	1	2		1	1	2	1	1	2		1	1	2	
		応用生命化学	0	0	1	1		0	1	1	0	0	0		0	0	0	
森林資源学		1	1	1	2	1		1	2	0	1	1	0		1	1		
地域環境工学		1	1	0	1	1		0	1	0	0	0	0		0	0		
生物環境保全学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
小計	12	6	4	10	0.8	6	4	10	3	2	5	2.0	3	2	5			
計	40	51	32	83	2.1	51	32	83	21	17	38	2.2	21	17	38			
合 計	146	200	183	383	2.6	199	183	382	72	79	151	2.5	72	79	151			

推薦入試Ⅱ

学部	学 科 ・ 課 程 等	募集人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数				
			男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計		
法文学部	総合政策学科「昼間主コース」	推薦 A	15	17	33	50	3.3	17	32	49	3	12	15	3.3	3	12	15	
		推薦 B	10	4	11	15	1.5	4	11	15	2	8	10	1.5	2	8	10	
		推薦 C	10	4	11	15	1.5	4	11	15	2	8	10	1.5	2	8	10	
	計	35	25	55	80	2.3	25	54	79	7	28	35	2.3	7	28	35		
教育学部	総合人間形成課程	国際理解教育コース	2	1	0	1	0.5	1	0	1	1	0	1	1.0	1	0	1	
医学部	医学科	推薦 A	(第1次選抜)	25	43	44	87	3.5	43	44	87	17	16	33	3.5	13	12	25
			(第2次選抜)	20	56	34	90	4.5	56	34	90	20	13	33	4.5	10	10	20
	看護学科	推薦 B	(第1次選抜)	24	0	41	41	1.7	0	41	41	0	39	39	1.7	0	24	24
			(第2次選抜)	69	99	119	218	3.2	99	119	218	37	68	105	3.2	23	46	69
		計	69	99	119	218	3.2	99	119	218	37	68	105	3.2	23	46	69	
	工学部	機械工学科	11	23	1	24	2.2	23	1	24	11	0	11	2.2	11	0	11	
環境建設工学科		土木工学コース	5	19	0	19	3.8	18	0	18	5	0	5	3.6	5	0	5	
		社会デザインコース	3	9	3	12	4.0	8	3	11	3	1	4	2.8	3	1	4	
機能材料工学科		8	11	3	14	1.8	10	3	13	5	3	8	1.6	5	3	8		
情報工学科		7	15	2	17	2.4	15	2	17	7	1	8	2.1	7	1	8		
計	34	77	9	86	2.5	74	9	83	31	5	36	2.3	31	5	36			
合 計	140	202	183	385	2.8	199	182	381	62	79	141	2.7	62	79	141			

愛媛大学入試情報サービス

本学では、入学試験に関する情報を、ホームページ及びスマートフォン・携帯電話サイトで提供します。

なお、自然災害等の発生による試験日程、試験会場の変更等が生じた場合には、「緊急時のお知らせ」として提供することがありますので、ご参照願います。

◆ ホームページ

本学のホームページでは、「入試情報」の中で、成績開示や各入試の情報等を提供しています。

愛媛大学 <https://www.ehime-u.ac.jp>

入試情報 <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/>

学生募集要項ダウンロード <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>

《提供する入試情報》

提 供 す る 入 試 情 報	提 供 時 期
推薦入試学生募集要項 社会人入試学生募集要項	平成29年9月中旬～
一般入試学生募集要項	平成29年11月上旬～
大学入試センター試験受験の案内	平成29年12月中旬～
一般入試の出願状況	平成30年1月末～
一般入試合格状況、入学手続の案内	平成30年3月上旬～
追加合格及び欠員補充第2次募集の有無	平成30年3月28日～

(注) 提供する入試情報は、変更する場合がありますので、あらかじめ了承願います。

◆ スマートフォン・携帯電話サイト

資料請求方法（一般入試、推薦入試及びAO入試募集要項を除く。）、出願状況速報（一般入試）などの各種情報をスマートフォン・携帯電話で閲覧できます。

URL <http://www.daigakujc.jp/ehime-u/>



